

# 「わが星」

作・柴幸男

本戯曲は、2015年の公演に向けて、初演台本を改稿したものです。  
第五十四回岸田國土戯曲賞を受賞した戯曲「わが星」は白水社から刊行されています。  
段差で発話する順を表記する書式は劇作・演出家の天野天街さんの戯曲を参考にしています。  
本戯曲では時報に合わせての音楽演奏を想定して書かれています。

## 登場人物

わたし	わ
お姉ちゃん	姉
お母さん	母
お父さん	父
お婆ちゃん	婆
月ちゃん	月
先生	先
男子	男

全	……全員
男全	……男性の俳優、全員
女全	……女性の俳優、全員
他	……直前の人物以外、全員
家	……家族（わ+姉+母+父+婆）

## 舞台設定

舞台に白く、きれいな円。もしくは球。

立体でも、平面でもかまわない。巨大な○が舞台となる。

地球を連想させる青色より、何か別の色がよいかもしれない。

○のまわりは宇宙となる。

客席は宇宙で、夜空の星を見るようにこの舞台を見る。

主な演技エリアは円内、円外（円外周）、俳優が待機する客席。

開演。

## 0 開演

公演の制作者、登場。開演のアナウンスを伝える。

制作 本日は「わが星」にご来場いただきまことにありがとうございます。(携帯電話のアナウンスなど) それでは、まもなく開演です。今から約4秒後に灯りを消させていただきます。ご了承くださいませ。4、3、2、

劇場の灯りがすべて消える。

制作 本公演は上演時間「約85分」を予定しております。途中、4秒の休憩がございます。最後までごゆっくりとお楽しみください。それでは今から約4秒後に上演を開始いたします。4、3、2、

## 1 ビックバン

暗い中、心臓の音が一瞬、聞こえる。

父・母・婆・姉 0年、  
先・男・わ・月 0時、  
父・母・婆・姉 0分、  
先・男・わ・月 0秒、  
母 ちょうどをお伝えしません  
姉 え、伝えないの、  
母 伝えようがないでしょう  
わ なんて、  
母 だって時間がないんだから、  
父 ないんじゃないかな、  
婆 「しょうが」もないですね、  
わ なんかないから？  
月 光もないから、  
わ なんにもないね、  
先 誰もいないから、

4秒、間。

わ つまんない、  
男 「つまん」もないから  
わ 遊ぼうよ、  
姉 どうやって、  
月 最初はグー、  
母 グーもないから  
他 えー、  
先 最初は、ムー、  
他 え、  
先 無です、

4秒、間。心臓の音が徐々に大きくなっていく。

他 あー、  
父 無はあったね、  
わ じゃあ、せーの  
女全 最初は無  
男全 ムー  
全 ビックバン

心臓の音、突然に消える。  
時報が4秒、聞こえる。

「わが星」

## 2 宇宙誕生（ラップと群読と芝居）

以下、指定がない限り終演まで時報は鳴り続ける。  
照明とドラムの音が、カットインする。  
出演者が全員、円の外周をドラムのビートに合わせて歩く。以下、歩きながら。

父・母・婆・姉 0年、  
先・男・わ・月 0時、  
父・母・婆・姉 0分、  
先・男・わ・月 0秒、  
母 ちようどをお伝えしました、  
父・母・姉・婆 誕生日、おめでとう！  
他 おめでとう！ え、誰の？

わ 時間

姉 空間

月 希望

婆 失望

先 声

男 聞こえない

父・母 命

わ・姉 あたし達

全 ハッピーバースデートゥーミー

わ 世界

姉 限界

月 関係

婆 崩壊

先 出会い

男 いさかい

父・母 旅立ち

わ・姉 あたし達

全 ハッピーバースデートゥーミー

わ ひかり

姉 暗闇

月 のぞみ

婆 苦しみ

先 こだま

男 だんまり

父・母 こまち

わ・姉 あたし達

全 ハッピーバースデートゥーミー

以下、太字の部分は重ねて発話する。

男全 誕生

女全 東京

男全 おめでとう

女全 とうきょう

男全 誕生

「わが星」

女全 東京  
男全 おめでとう  
女全 とろきよう

ドラムのビートが一瞬、消える。全員、立ち止まる。

父・母 次は東京、東京、開くドアにご注意ください

全員、また歩き出す。

わ 上野  
姉 池袋  
月 新宿  
婆 渋谷  
先 五反田  
男 品川  
父・母 田町  
わ・姉 御徒町  
全 ハッピーバースデートゥーミー  
先・男 これが宇宙のはじまりです。今からおよそ、  
先 137億年前 (同時に)  
男 137秒前 (同時に)  
先・男 宇宙はこうして生まれました。

### 3 携帯電話

携帯電話が鳴る音、バイブレーションの音、聞こえる。

母 運送中の

姉 こう演中の

母・姉 携帯電話の電源はお切り頂けますようお願い申し上げます。

携帯電話が鳴る音、バイブレーションの音、消える。

男全 あ、すいません、もしもし、

女全 出んのかよ、もしもし、

男全 はじめまして、

女全 はじめまして、

男全 聞こえますか？

女全 聞こえますよ、

男全 生まれましたか

女全 生まれましたよ、

男全 生まれましたか、

女全 生まれましたよ、

男全 生まれましたね、

ビートが変化する。

父 生まれましたね、先生！

先 はい、無事に生まれました、母子共に健康です

父 よかった、

先 元気な女の子ですよ

父 もしもし

婆 はいはい

父 聞こえてる？

婆 聞こえますよ

父 生まれました

婆 まあ、よかった、

姉 ねえ、お婆ちゃん、かわって、

婆 (かわらない)

父 元気な女の子だって、

姉 どっち、どっち、いもうと？

婆 そうですよ、

姉 やった、

ビートが元に戻る。

わ ねえ

母 なに？

わ これ、あたしが生まれるとき？

母 そうよ、

わ うん、おぼえてる、

### 「わが星」

母 ずっと見てたんだ  
わ 見えてた  
母 ずっと聞いてたんだ  
わ 聞こえてた  
他 聞こえますか？  
わ 聞こえますよ、  
他 生まれましたか、  
わ 生まれましたよ  
他 おめでとう  
わ ありがとう

ビートが変化する。早い鼓動のよう。

わ おぼえてる、全部、おぼえてる。はじめて生まれたこと。はじめて泣いたこと。はじめて燃えたこと。  
はじめて死んだこと。  
他 おぼえてる、全部、おぼえてる。  
わ 知ってるの？  
他 知ってるよ  
わ どうして？  
他 ずっと見てたから  
わ ずっと見てたんだ  
男 100年（同時に）  
先 100億年（同時に）  
他 ずっと見てたから  
わ ずっと見ててくれたんだ、

ビートが元に戻る。

4 団地

母・婆 白いカーテン  
 父・姉 テン井のシミ  
 男・先 ちゃぶダイ  
 母・婆 ダイ所  
 姉 ノート 水の音  
 男 教科書  
 姉 ランドセル  
 月 おべんとう箱  
 先 ふで箱  
 婆 クスリ箱  
 全 さいほう  
 全 バコ  
 先 っとはずれる冷蔵庫のドア  
 姉 には、こんだて  
 姉 シール  
 姉 マグネット  
 姉 ぐねっと  
 姉 曲がった鉄筋  
 全 コンクリート10階建て集合住宅  
 父 たくさんあったね  
 父 たくさんいたね  
 父 たくさん住んだね  
 父 たくさん死んだね  
 父 たくさんおしんこ  
 父 ごはんにみそ汁  
 父 納豆  
 姉 めざし  
 姉 めざまし時計

ビートが変化する。

母 ちやんとかけときなさいって言ったでしょ  
 姉 かけたもん、でも鳴らなかったの、  
 母 なんて  
 姉 わかんない、あんたでしょ、  
 わ ちがうよ、  
 母 早くしないと遅刻するわよ、  
 姉 なんて起こしてくんなかったの、  
 母 自分で起きなさい、  
 姉 だって、あたしかけたんだよ、本当に、

ビート、元に戻る。

「わが星」

姉・月 めざまし時計  
 婆 ほっき



父	キン	チカモク	ドッテン	カイメイ
男		チカモク	ドッテン	カイメイ
わ		モク	ドッテン	カイメイ
婆			ドッテン	カイメイ
母			テン	カイメイ
先				カイメイ
月				メイ

ビートが消えて、役者は一人ずつ時報に合わせて手拍子をはじめめる。

父	ツウキン	チカテツ	トッキュウ	カイソク	(通勤通学特急快速)
母	スイジ	センタク	ヤリクリ	カケイ	(炊事洗濯やりくり家計)
姉	スイセン	ニユウガク	ナイシン	ハンテイ	(推薦入学内申判定)
婆	シンケイ	ゼンソク	リュウマチ	ハイエン	(神経喘息リュウマチ肺炎)
月	スイミング	スクール	ジュツキユウ	カクテイ	(スイミングスクール十級確定)
先	スイテイ	シュツカ	ゲンイン	ハンメイ	(推定出火原因判明)
男	リュウセイ	チカツク	ジカンノ	サカイメ	(流星近づく時間の境目)

役者たちは手拍子をやめて、ビートが元に戻る。

父・婆	めぐりめぐる	めくるめく
月・姉		めくる
先・男		
わ・母	めまぐるしく	
父・婆		日めくり
月・姉		めくるめくる
父婆男	めぐりめぐられ	
わ姉母		メリーゴーランド

ビート、変化する。

## 「わが星」

わ	あるよね
父	あるある
わ	ねー、お母さんサンドウィッチにしてくれた？
母	お姉ちゃん、
姉	……
父	どうした、
母	行きたくないんだって、
父	え、
わ	ねーお母さんサンドウィッチ
母	ちゃんと作ったから
わ	やった
姉	いいよ、あたし家にいる、
父	なに、いじめてんだ
姉	別にいじめてない、
母	恥ずかしいのよ、みんなで行くのが
父	なんで、
わ	お姉ちゃんも一緒に行こうよ

姉 あたし友達と遊んでくる  
父 おいおい  
わ えー、一緒にメリーゴーランド乗ろうよ、あとジェットコースター、コーヒーカープ、観覧車、  
父 そんなに乗ったら、

**ビート、元に戻る。**

男全 めがまわる  
女全 めがくらむ  
男全 めまいがする  
女全 めがさめる  
全 めがさめる

父・母 おはよう  
姉・婆 こんにちは  
先・月 こんばんわ  
わ・男 いただきます  
父・母 ごちそうさま  
姉・婆 いただきます  
先・月 いったらっしゃい  
わ・男 はじめまして  
父・母 さようなら  
姉・婆 たいま  
先・月 おかえり  
わ・男 おやすみなさい  
女全 めぐる24  
男全 かける7  
女全 かける365  
男全 かける7

父・婆 めぐりめぐる  
月・姉 めくるめく  
先・男 めぐる  
わ・母 めまぐるしく  
父・婆 日めぐりカレンダー  
月・姉 めくる  
父婆男 めぐりめぐられ  
わ姉母 メリーゴーランド  
男全 めがまわる  
女全 めがくらむ  
男全 めまいがする  
女全 めがさめる  
全 めめからめめる

**ビート、変化する。ゆっくりとベースギターの音が聞こえてくる。**

わ 目がさめたあたしは軽く手のひらを握る。  
まぶたを開くとうすぐらい部屋が見えてくる。

**「わが星」**

# 「わが星」

父全婆月先母姉婆父わ月わ月わ父男全先わ姉母全婆先月わ姉男わ姉母・先父・母  
母・婆 黒いカーテン  
父・姉 テン井のけむり  
男・先 ちゃぶダイ  
母・婆 ダイニング  
姉 ノート 水の音  
わ 教科書  
姉 ランドセル  
月 おべんとう箱  
先 ふで箱  
婆 クスリ箱  
全 救急  
男 バコ  
父 っとはずれた冷蔵庫のドア  
先 には、こんだて  
全 シール  
婆 マグネット  
先 ぐねっと  
月 曲がった鉄筋  
わ たくさんあつたね  
姉 たくさん遊んだね  
母 たくさんいたね  
婆 たくさん逝ったね  
父 あつかんえだまめ  
わ イカ焼きたこ焼き  
月 焼きメシ  
先 焼きそば  
母 焼き鳥  
姉 ちりとり  
婆 焼きほっけ  
月 ほろき  
先 警報器  
母 消火器

立ち上がって窓に近づきカーテンを開ける。  
他  
すると、

わ  
空を覆う真つ白な太陽がまぶしく光ってる。  
台所でお母さんがわたしを呼んでいる。  
たった今見ていた夢を少し、思い出す。  
ドアを開けて廊下を歩く、  
家族が話している声(が)聞こえる、  
いつもと変わらない風景が、  
そこにある。

ビートが復帰する。以下、ずっとベースギターの音が鳴っている



月 先 母 婆 わ

モク  
ドッテン  
ドッテン  
カイメイ  
カイメイ  
カイメイ  
カイメイ  
メイ

ドラムの音が消える。役者たちは時報に合わせて手拍子をする。

父 母 姉 婆 月 家十月 先 家十月十先 男

スイバク ゲンバク タイセン カイセン  
スイゲン ソコツク ユデン カツメイ  
サイキン ウイルス カクダイ マンエン  
シンキン コウソク シツカン ハッシヨウ  
スイセイ ショウトツ ホウカイ ブンメイ  
ジンルイ ゼツメツ ゼツタイ ゼツメイ  
スイキン ジョウハツ タイヨウ ボウチヨウ  
セイメイ ゼツメツ ゼツタイ ゼツメイ  
ワクセイ キエユク ヒカリノ セカイヘ

(水爆原爆大戦開戦)  
(水源底付く油田湯命)  
(細菌ウイルス拡大蔓延)  
(心筋梗塞疾患発症)  
(彗星衝突崩壊文明)  
(人類絶滅絶対絶命)  
(水金蒸発太陽膨張)  
(生命絶滅絶対絶命)  
(惑星消えゆく光の世界へ)

役者たちは手拍子をやめる。  
楽器の音が消えて、時報だけになる。

母 おはよう  
わ おはよう  
母 どうしたの？  
わ なんか、夢、見た  
母 夢？  
わ うん、  
母 どんな？  
わ えつとね、……忘れた、  
母 なにそれ、早く朝ご飯食べちゃいなさい  
わ はーい、

少しの間。

わ ねえ、  
全 なに？  
わ これ、あたしが死んでくとき？  
全 そう  
わ うん、おぼえてる  
全 ずっと見てたんだ、  
わ 見えてた、燃えるんですよ  
全 燃える(よ)  
わ 消えるんですよ  
全 消える(よ)  
わ ねえ  
全 なに  
わ ……手つないでもいい？

# 「わが星」

ビート、聞こえてくる。役者全員、手をつないで踊る。

# 「わが星」

女全 死んでくわたしが見ているの？  
男全 そう  
女全 見ているわたしが生まれるの？  
男全 そう  
女全 生まれるわたしが見ているの？  
男全 そう  
女全 見ているわたしが死んでくの？  
男全 そう  
女全 死んでくわたしが生まれるの？  
男全 そう  
わ 死んでくわたしが見ている  
姉 見ているわたしが生まれる  
月 生まれるわたしが見ている  
母 見ているわたしが死んでく  
全 誕生日おめでとう！  
全 おめでとう！ え、誰の？  
わ 時間  
姉 空間  
月 希望  
婆 失望  
先 声  
男 聞こえない  
父・母 命  
月・姉 あたし達  
わ 世界  
姉 限界  
月 関係  
婆 崩壊  
先 出会い  
男 いさかい  
父・母 旅立ち  
月・姉 あたし達  
わ ひかり  
姉 暗闇  
月 のぞみ  
婆 苦しみ  
先 こだま  
男 だんまり  
父・母 こまち  
月・姉 あたし達  
男全 滅亡  
女全 東京  
男全 おめでとう  
女全 とうきょう  
男全 滅亡

「わが星」

女全 東京  
男全 おめでとう  
女全 とらきよう  
父・母 終点、東京、東京、閉まるドアにご注意ください  
わ 上野  
姉 池袋  
月 新宿  
婆 渋谷  
先 五反田  
男 品川  
父・母 田町  
月・姉 御徒町  
全 ハッピーバースデートゥーミー

全員、止まる。

時報の音は続いて聞こえる。

先（落ち着いて、客席に）……そして今も宇宙は広がり続けています。そのスピードは1メガパーセクあたり秒速70キロメートル。

**全員、椅子とりゲームのように客席に四方八方に飛び散り、座る。**

母 100億年前にスター、トした、この物語もこれでホシマイです。本日はままごと「わが星」にご来場いただきましてまことにありがとうございます。

他 ありがとうございます、

母 100億年、本当にやると誰もいなくなってしまうので時間の都合上、100秒に割愛させていたいただきました。それではこれより今ご覧いただいた内容を1時間(?)に引き延ばしてお送りします。

父 え、ちよっとまって、

母 なに、

父 え、引き延ばすっていうのは違うんじゃない？

母 なんて、

父 だってもともと100億年なんだから、縮めてんじゃないの？

母 でも、さっきは100秒だったんだから引き延ばしてるでしょ、

婆 だいたい、引き延ばすっていう言葉がよくないねえ

姉 あの、ていうか、100秒じゃなくない？ 今の、

わ 全然、長かったよね

月 うん、

母 わかりました、それではこれより今ご覧いただいた内容を1年に縮めてお送りします。

他 いやいやいや、

母 なに、

婆 1年って、みんな困っちゃうでしょ

母 なんて、せつかく縮めたのに、

父 怒るなよ、

母 それではこれより今ご覧いただいた内容を適当に、縮めたり、引き延ばしたりしてお送りします。

男全 そして話は一万年後、

女全 そして話は一万年向こう

わ・月 でもその前に

全 4秒休憩！

**時報以外、4秒間だけ照明や音響すべてが客入れ状態に戻る。**

6 望遠鏡（以下、色つけ部分がラップになります）

客席にまぎれて座っていた男子と先生、その場で立ち上がる。  
男子と先生は離れた客席にいる。  
一瞬で、男子と先生が照らされる。ふたりを照らす光は色、模様がそれぞれ違う。  
男子は望遠鏡をのぞいている。先生は直立。

男 （気がついて）先生！  
先 はい、  
男 いつからそこに、  
先 ずっと前からここに  
男 ずっと前？  
先 君が居たときから私もいました  
男 え、  
先 屋上は立ち入り禁止です  
男 すいません、  
先 校則違反です  
男 校則は絶対ですか  
先 絶対です  
男 え、じゃあ、先生は？  
先 先生は校則を超えたんです、  
男 え、超えたんですか、校則を？  
先 超えました  
男 上げえ！  
先 すぐに君も校則を超えるでしょう  
男 え、  
先 日が落ちるのも早くなりました  
男 そうですね  
先 風邪をひきます  
男 だいじょうぶです  
先 君じゃありません、私が風邪をひきます  
男 え、  
全 ハクシヨン

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。  
男子と先生、役が入れ替わる。  
今まで男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる。  
それに合わせて照明の模様も入れ替わる。

「わが星」

先 ほら、風邪をひいてしまった  
男 え、え、  
先 気をつけてください、君ひとりの体じゃないんだから、  
男 違うんです、先生、見てください！  
先 見てましたよ、ずっと  
男 いや、僕じゃなくて、ほらあそこ、  
先 （見る）  
男 星があります  
先 ありました

男 ポラリスの右斜め上に星が見えるんです、  
先 見えました  
男 でも、どの星図で確認してもあそこに星は、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

2人の役者が演じる役は、元に戻る。

男 ないんです  
先 ありませんでした  
男 じゃあ、あれはなんですか、  
先 あれは何だったのでしょうか、  
男 先生、もしかして、もしかして、あれは「新しい星」ではないですか？  
先 では、ありませんでした、  
男 (聞いていない) そうです、新しい星です！ 僕が見つけた！ 世界ではじめて僕が見つけた星、僕があの星に名前をつけるんです、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

再び、男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる。

男 先生、見てください、僕の星です！  
先 そう、あれは僕の星でした  
男 え、いやいやいや、僕の星ですよ  
先 そう、あれは僕の星でした  
男 いやいやいや、これは僕の星です  
先 そう、僕の星でした  
男 いやいやいや、これは僕の

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

2人の役者が演じる役は、元に戻る。

男 星です、  
先 そう、あれは僕の、星でした  
男 いや、いやいや、だから！ これは僕の星ですよ！  
先 そう、あれは僕の、星でした  
男 いや、いやいや、だから！ これは僕の星ですよ！  
先 そう、あれは僕の、星でした  
男 いや、ちょっと待ってください！ これは僕が見つけた僕の星です、この星では僕が一番

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

再び、男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる。

## 「わが星」

男 えらいんです、  
先 勘違いしていました、  
男 この星ではお、おっぱい触りたい放題なんです

先 バカでした  
男 さあ、なんて名前をつけよう、おっばい（望遠鏡をのぞく）  
先 でも、もうあの星はありませんでした、  
先・男 ええ！

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。  
男子と先生、役が入れ替わる。  
2人の役者が演じる役は、元に戻る。

男 ああ、びっくりした、何言ってるんですか、あります、星はありますよ、明るく光っているじゃないですか  
先 あれは巨星でした、  
男 巨乳、  
先 巨星、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。  
男子と先生、役が入れ替わる。  
再び、男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる。

先 星が寿命を迎え、巨大化し燃え尽きることです  
男 え、じゃあ、この星は燃え尽きるんですか  
先 いいえ、もうすでに燃え尽きたんです  
男 え、

時報の音に合わせて強いバスドラムの音。ゆっくりと大きくなる。  
男子と先生、役が入れ替わる。

2人の役者が演じる役は、元に戻る。  
以下、●の台詞で役をチェンジする。

●の位置はちょうど時報の4秒と合っている。  
以下の色付きの箇所は、台詞であり、歌になる。

## 「わが星」

先 あの星は、はるかかなた一万年向こう●  
全 一万年  
先 光の速さで一万年かかる距離のこと●  
先・男 じゃあ、  
男 この光が一万年前？  
先 そう、あの光が一万年前、●  
先・男 じゃあ、  
男 この音も一万年前？  
先 そう、あの鼓動も一万年前、●  
先・男 じゃあ、  
男 この星が一万年前？  
先 そう、あの星は今ももうない、●  
先・男 じゃあ、  
男 何なんですか、今見てるのは  
先 君は、一万年をかいま見てるんです●  
男 先生、よくわかりません  
先 目をそらしちゃいけません！●

男 (望遠鏡から目をそらし) え？

照明とすべての楽器の音が消える。

4秒、間。

全 先生！

照明が男と先生、照らす。

舞台の中央、丸の中に、わたし、いる。

透明の望遠鏡で空を見ている。

円内には、ちやぶ台と蛍光灯が登場している。

男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じている。

先 だから目をそらしちゃいけないと言ったでしょう

男 先生、もう、この星から目を離せません！

先 離してはいけません、

男 そんな、僕の星がもうない、だなんて、僕の、惑星

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

2人の役者が演じる役は、元に戻る。

男 ボインが、

先 バカでした

男 先生、倍率を上げてもいいですか？

先 すでに上がっています

男 恒星のまわりに、惑星が見えます、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

再び、男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる

男 三番目の星がとても、青くて、きれいで、この星も消えて無くなるんですか

先 いいえ、その星も、もう

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役が入れ替わる。

男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる

先 消えて無くなってるんです

男 先生、倍率が止まりません

先 何が見えました

男 人がいます、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。

男子と先生、役をチェンジする。

2人の役者が演じる役は、元に戻る。

「わが星」

先 誰でした、  
男 わかりません、  
男 先生、これが一万年前なんですか  
男・先 そう、

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。  
男子と先生、役が入れ替わる。  
再び、男子を演じていた俳優が先生を、先生を演じていた俳優が男子を演じる

先 あれは、20年前の（同時に）  
男 これは今、目の前の（同時に）  
先 一万年前の話です

時報の音に合わせて強いバスドラムの単発音。  
男子と先生、役をチェンジする。  
2人の役者が演じる役は、元に戻る。

男 見えました！  
先 何が、  
男 女の子、

時報に合わせて、男子と先生を照らしていた照明が消える。

7 ちゃぶ台

円内が明るくなる。

わ あ、一番星、  
母の声 ちーちゃん  
わ ……

わたし、すぐに望遠鏡を下げて自分を見る。わたしは望遠鏡で自分の体を見るのに夢中。  
かすかにテレビの音。どこかで豆腐屋のラッパや、サイレンが鳴っている。

母 (客席で) ちーちゃん、ごはんー  
わ (夢中) あー  
母 (客席で) ちーちゃん  
わ (夢中) あー

姉、登場。ちゃぶ台を持ってくる。

「わが星」

姉 ちー  
わ (夢中) ……  
姉 ちー  
わ (夢中) あー  
姉 (わたしの頭をはたく)  
わ いで、  
姉 ごはん  
わ 知ってる、  
姉 手伝えよ  
わ いま、やろうと思ってたの  
姉 うそつけ  
わ お母さん、お姉ちゃんがぶったー  
姉 ぶってないよ  
わ うそだよ、バンってやったの  
姉 ちよっと叩いただけでしょ  
わ あたしもぶつ  
姉 なんて  
わ 一回、  
姉 やだよ  
わ だって、お姉ちゃんはもう一回ぶったんだからこんどはあたしが一回ぶつ権利があるんだよ、  
姉 ないよ  
わ ぶたせてよ(ぶつ)  
姉 (よける)  
わ よけないでよ  
姉 やだよ  
わ (ぶつ)  
姉 (よける)  
わ なんてよけんのー、  
姉 バーカバーカ  
わ よけないで、よけないで、

姉 (ぶつ)  
わ またぶったー、2回もぶったー、

**母、登場。舞台の中央にある、ちやぶ台を拭きながら。**

わ お母さーん、  
母 二人とも暴れないの  
姉 ちーが一人ですんどこしてるだけだよ  
母 ちーちゃん  
わ ちがうー、  
母 お義母さん、ごはんつけましたー  
婆 (客席で) はーいー

**わたし、また望遠鏡で自分を見る。**

母 二人とも座りなさい  
わ ー

**母、客席に戻る。**

姉 そんなおもしろい？  
わ お姉ちゃんには見せてあげない、  
姉 いいよ、別に、あたしベストテン見るから

**姉、テレビのチャンネルを変える。**

わ あー、変えたらだめー  
姉 だってあんた見てないじゃん  
わ これからはじまるの、  
姉 あんたそれ見てればいいでしょ  
わ まんが見るの  
姉 またぶつよ  
わ やだ、

**婆、登場。**

わ おばあちゃん、お姉ちゃんがぶつ  
姉 あんたがわがままばっか言うからでしょ  
わ 言っでないよ  
婆 はいはい、、

**父、登場。チャンネルを変える。  
透明のテレビからは野球中継の音。**

## 「わが星」

姉とわ あー、お父さん(とか、なんとか)  
父 野球にしとけ、野球に、  
姉とわ ……

「わが星」

わ 婆 はい、二人ともこっちおいで  
…  
… (望遠鏡で自分を見る)

母、登場。

父 あれ、あれあれ、なんだこれ  
姉 最近、よくこうなるよ  
父 え、そうなの  
姉 なんかも突然、ザーって、  
そうそう、  
父 なんだよ、これじゃ全然見えないよ  
母 (机を叩いて) ちーちゃん、いい加減にしなさい  
わ はい  
婆 もうすぐ寿命なんじゃないですか、  
父 あーもー寿命かもな、  
姉 寿命、寿命  
母 え、お義母さん寿命なんですか？  
婆 あたしじゃないですよ、  
父 テレビテレビ  
母 ああ、……なんだ、  
婆 え、なんですか、今の、  
母 え、  
婆 なんで今、ちよつと残念そうだったんですか？  
母 なにがですか、  
婆 「なにがですか」じゃないでしょう、え、あたしはあと100年は生きますよ、  
父 まじかよ  
姉 今日は、どこ対どこ  
父 巨人対タイガース  
姉 どっち勝つ？ どっち勝つ？  
父 巨人だな、頭が違う  
婆 タイガースも手強いですよ、  
母 はい、じゃあ、  
全 いただきます  
婆 あ！郵便局のとおのおじいさん、いよいよみたいですわ、  
母 あら、そうなんですわ、  
婆 食道ガンですって、  
わ (望遠鏡を触ろうとする)  
母 まあ、(わたしに) ちーちゃん  
わ (やめる)  
父 ほんとずっと見てるな、  
わ うん、ねー、新しいのちようだい  
父 新しいの？  
わ もっとよく見えるのちようだい、  
父 こないだやったばっかだろう、  
わ もっと大きく見たいの、ねえ、ゴハン終わったら買いに行こう、  
姉 ダメに決まってるでしょそんな  
わ ダメじゃないもん、だって誕生日だもんね、  
姉 来週でしょ  
わ ねー、いいでしょ、欲しいの、  
母 だーめ、来週までがまんしなさい  
姉 ほら、

## 「わが星」

わ えー、いいじゃん、  
姉 ねー新しいテレビ買おうよ  
母 テレビ？  
姉 だってもう、7チャンネル映らないんだよ、  
父 そうだな  
姉 今ね、リモコン付きのすごいがあるんだよ  
母 すごくなくていいの、普通で十分、  
姉 えーせっかく買うんだったら一番いいのがいいじゃん  
母 それより冷蔵庫でしょ、たまにドアが外れそうになるんだから  
婆 そうですねえ、  
姉 えー冷蔵庫なんかいいよー  
母 あんた達が貼ったシールがベターって残っちゃってるの、汚いでしょ  
姉 ちー  
わ ちがう  
父 そんな、なんでもかんでも買う金ないぞ  
姉 鉛筆ブームが来たら儲かるのにな  
父 そうだな、  
母 こないわよ、そんなブーム  
父・姉 え、  
わ ねー、来週ってどうやってたら来るの？  
母 来週になったら来るでしょ  
わ そうじゃなくて  
婆 お天道さんが七回出てきたら来週ですね、  
わ お天道さん？  
姉 太陽のことでしょ  
婆 そう  
姉 あたしそれ習った、地球が1周したら一日なんですよ  
父 そうだな  
わ じゃあ回ればいいの？  
父 地球が7周回れば一週だな、  
母 え、7周でしょ、  
婆 来週でしょ、  
父 うん、そうじゃなくて、  
わ (立ち上がって) わかった！  
母 なに、  
わ 回るの  
母 バカ言っていないで座りなさい  
わ 回るもん  
姉 (ほっときやいいよ)  
母 (ほこりたつでしょ、)

わたし、回る。

時報に合わせて、ドラムのビート音がカッティン。

円内の照明が変化する。

別の照明が男子と先生を照らす。

時報の4秒がちょうど台詞の「●」の位置になる。

男 そう、あれは自転です  
全 自転？●  
男 そのスピードは時速1700キロ、音よりも速い速度です●

ビート音が消える。

円内の照明、元に戻る。

男子と先生を照らしていた照明、消える。

家族たちの位置は、先の男子と先生のやりとりがはじまる前の位置から少しずれる。

母 (ちやぶ台を叩いて) ちーちゃん、いい加減にきなさい！  
わ はい、

家族たちは先のやりとりを繰り返すが、少しずつ違っている。  
家族たちは繰り返していることを自覚はしていないが、さっきよりもこじせっかちに演じる。

婆 もうすぐ寿命なんじゃないですか、  
父 あーもー寿命かもな、  
姉 寿命、寿命  
母 (食い気味に) え、お義母さん寿命なんですか？  
婆 あたしじゃないですよ、  
父 テレビテレビ、  
母 (より露骨に残念そうに) ああ、なんだ  
婆 ちょっと、なんですか、それ、  
母 え、  
婆 今、あなた露骨に残念そうにしたでしょ、  
母 はいはい、  
婆 はいはいってなんですか、え、もう、あたしはあと百万年は生きますよ  
父 まじかよ  
姉 今日、どこ対どこ  
父 原人对タイガー、  
姉 どっち勝つ？ どっち勝つ？  
父 北京原人だな、頭が違う  
婆 サーベルタイガーも手強いよ  
母 はい、じゃあ、  
全 ハッピーバースデートゥユー、ハッピーバースデートゥユー、ハッピーバースデーディアちゃん、ハッピーバースデートゥユー (拍手)  
わ やったー  
婆 ちゃんはいくつになったんですか、  
わ 46億と10才  
姉 デーモン小暮かよ  
婆 へー、もうそんなかい、  
わ お母さん、ケーキは、ケーキ、  
母 あんたが今、のってるでしょ  
わ え、これ、これ、ケーキ？ 全部？  
母 そうよ  
わ やったー、これ全部、わたしの、  
姉 ちよっと  
わ 一人で食べるー  
姉 誕生日だからってわがまま言い過ぎだろ  
母 お腹こわすわよ  
わ ねえ、プレゼント、プレゼントは、お父さん、プレゼント！  
父 しょうがないな、  
わ はやく、はやく  
父 はいはい

父、プレゼントをとりて退場。

## 「わが星」

姉 調子のんなよ

わ だって誕生日だもーん  
姉 (ぶっ)  
わ お母さん、  
母 お姉ちゃん、  
姉 だってー

父、登場。透明のプレゼントを持ってくる。

父 ほら (より大きい望遠鏡)  
わ わー、大きいー、見てもいい？  
父 おうおう  
母 だめ、  
わ・父 え、  
母 ちーちゃん、  
わ (察して) あ、ありがとう  
父 どういたしまして  
わ 見てもいい？  
母 いいよ  
わ よし！ (自分を見る)  
姉 使い方、間違ってるから、  
婆 お姉ちゃん、  
姉 だって違うでしょ、  
母 いいじゃない、本人が満足してるんだから、  
姉 ねえ、あたしの誕生日ちゃんと覚えてる？ 忘れてない？  
母 覚えてますよ  
姉 あたしにもプレゼント買ってね！ 絶対だからね！  
母 はいはい  
父 どうだ、よく見えるか？  
わ 見えるー、  
父 何が見える？  
わ 今ねー、お姉ちゃんのかけた圧力で、ホコリが舞って、おっきい雲になって、光がさえぎられて、寒冷化して、恐竜が絶滅した、  
姉 おい、お前、  
わ ひっ、  
父 そりゃすこいな、  
母 ほらじゃあ、ちーちゃん、こっちいらっしやい  
わ はーい  
婆 あー郵便局のこのおじいさん、いよいよみたいですよ、  
母 こないだもそう言ってませんでしたか、  
婆 いや、今度こそ、いよいよみたいですよ、  
母 はあ、  
婆 食道のガンはね切除したんですけどね、今度は胃に轉移しちゃったんですって、  
わ (望遠鏡を触ろうとする)  
母 (わたしに) ちーちゃん、ごはんときはそれやめなさい  
わ (やめる)  
父 ほんとずっと見てるな  
わ うん、ねえ、新しいの、ちょうだい！  
父 うん？

## 「わが星」

## 「わが星」

わ ね、お父さん、新しいの！  
父 新しいの？  
わ もっとよく見えるの、ちょうだい！  
父 今やったばっかだろう！  
わ もっと大きく見たいの！ ねえ、ゴハン終わったら買いに行こう！  
姉 ダメに決まってるでしょそんな、  
わ ダメじゃないもん、だって誕生日だもんね、  
姉 今、終わったでしょ！  
わ 今日、まだ終わってないもん、誕生日だよ  
姉 さっきプレゼントもらって、終わったの！  
わ ねー、いいでしょ、欲しいの、  
母 だーめ、来年までがまんしなさい、  
姉 ほら！  
わ えー、いいじゃん、  
姉 ね、新しいテレビ買おうよ！  
母 テレビ？  
姉 だってもう、7チャンネルと9チャンネルと3チャンネルと6チャンネル映らないんだよ  
父 え、そんなに！  
姉 今ね、衛星放送付きのすごいのがあるんだよ  
母 すごくなくていいの、普通で十分、  
姉 えーせっかく買ったら一番いいのがいいじゃん  
母 それより冷蔵庫でしょ、ドア外れっぱなしなんだから、  
父・婆 え！  
姉 えー、冷蔵庫なんかいいよー  
母 あんた達が貼ったシールがベターって残っちゃって、それをお婆ちゃんがシンナーで落ちるってこすつたら全然落ちなくてボロボロになってるの、汚いでしょ、  
わ・姉 おばあちゃん  
婆 ごめんなさい、  
父 そんな、なんでもかんでも買う金ないぞ  
姉 ロケット鉛筆ブームが来たら儲かるのにね、  
父 そうだな、  
母 来るわけじゃないでしょ、そんなブーム  
父・姉 え、  
わ ね、ね、ね、来年ってどうやってたら来るの？  
母 来年になったら来るでしょ  
わ そうじゃなくて、  
婆 お天道さんが365回出てきたら来年ですね、  
わ お天道さん？  
姉 太陽のことでしょ  
婆 そう  
姉 あたしそれ習った、地球が1周したら一日なんですよ  
父 そうだな  
わ え、じゃあ、回ればいいの？  
父 地球が365周回れば来年だ  
母 え、364周じゃない？  
父 うん、いや、あれ？ 1、2、  
母 だって、1、2、  
わ (立ち上がった) わかった！

## 「わが星」

母 なに、  
わ 回るの  
母 バカ言っていないで座りなさい  
わ 回るもーん、  
姉 ほっときやいいよ  
母 ほこりたつでしょ、  
婆 あ、ホウキももう毛羽立っちゃってますね、新しいの買って来てくださいね、  
母 ああ、お願いします、  
婆 え、

わたし、グルグル回る。きつい。

わ そんなに回れるか！  
母 なに怒ってんの、  
わ 目が回る、  
姉 バカじゃないの  
わ えー、  
婆 春夏秋冬が一回りしたら1年ですね、  
わ 春夏秋冬？  
姉 季節のことでしょ  
婆 そう  
姉 あたしそれ習った、地球が太陽を一周したら1年なんでしょ  
父 そうだな  
わ なにそんなにそれ、どこ回ればいいの？  
父 地球が太陽の周りを一周したら来年だ、  
母 太陽に近づいたら夏なのよ、  
父 うん、それは違うんだな、  
母 どうして、  
わ (立ち上がって) わかった、  
母 なに、  
わ 回るの  
母 バカ言っていないで座りなさい  
わ 回るもーん、  
姉 (ほっときやいいよ)  
母 (ほこりたつでしょ、)

わたし、円の外周を大きく回る。

ビートが聞こえる。

円内の照明、変化する。

別の照明が男子と先生を照らす。

男 先生、また星が回っています  
先 あれは公転です

● 公転？

先 そのスピードは時速10万キロ、音よりも速い速度です ●  
男 でも、そんなに速くは見えませんが、ていうかむしろもっさりしています ●  
先 それは目の錯覚です、あの星があまりに遠く巨大だからそう見えるんです ●

ビート音が消える。

円内の照明、元に戻る。

男子と先生を照らしていた照明、消える。

家族たちの位置は、先の男子と先生のやりとりがはじまる前の位置から少しずつれる。

母 (机を叩いて) ちーちゃん、いい加減にきなさい！  
わ はい！

家族たちは先のやりとりを繰り返すが、少しずつ違っている。  
家族たちはさっきよりもさらにすこしせっかちに演じる。

婆 もうすぐ寿命なんじゃないですか、  
父 あーもう寿命かもな  
姉 寿命、寿命  
母 え、お義母さん寿命なんですか？  
婆 あたしじゃないですよ  
父 テレビテレビ  
母 (より露骨に) ああ、なんだ、  
婆 だから、それ！  
母 え、なんですか急に、  
婆 急じゃないですよ、毎回毎回、残念そうにして、あたしはあと100万回は生きてますよ  
父 猫かよ  
姉 今日は、どこ対どこ  
父 有人爆撃機B29対タイガー戦車  
姉 どっち勝つ？ どっち勝つ？  
父 アメリカだな、頭が違う  
婆 ドイツも手強いですよ、  
母 はい、じゃあ、  
全 ハッピーバースデートゥユー、ハッピーバースデートゥユー、ハッピーバースデーディアちゃん、ハッピーバースデートゥユー (拍手)  
わ やったー  
婆 ちゃんはいくつになったんですか、  
わ 46億と11才、  
姉 デーモン小暮かよ  
わ ね、ね、お父さん、プレゼント、プレゼント、ちょうだい、  
母 ちーちゃん  
わ だって誕生日でしょ  
父 せわしねえな、  
わ はやく、はやく  
父 はいはい

父、プレゼントをとりて退場。

姉 調子のんなよ  
わ だって誕生日だもん  
姉 ねえ、あたしは？ あたしの誕生日は？ なんか飛ばされてる気がするんだけど！  
母 そんなわけないでしょ、  
姉 ねえ、ちゃんと覚えてる？ 忘れてない？  
母 覚えてますよ  
姉 あたしにもプレゼント買ってよ！  
母 はいはい、

父、登場。さっきよりも大きな透明の望遠鏡を持ってくる。

## 「わが星」

父 ほら（より大きい望遠鏡）  
わ わー、大きいー、見てもいい？  
父 おうおう  
母 だめ、  
わ・父 え、  
母 ちーちゃん、  
わ （察して）あ、ありがとう  
父 どういたしまして  
わ 見てもいい？  
母 いいよ  
わ （自分を見る）  
父 どうだ、よく見えるか？  
わ 見える、  
父 何が見える？  
わ 今ねー、クロマニヨン人が洞窟で絵を描いてる、  
父 そりゃすごいな  
わ うん、ねえ、新しいのちょうだい！  
父 新しいの？  
わ もっとよく見えるのちょうだい！  
父 今、やったばっかだろう！  
わ もっと大きく見たいの！ ねえ！ ゴハン終わったら買いに行こう！  
姉 ダメに決まってるでしょそんなん！  
わ ダメじゃないもん！ だって誕生日だもんね！  
姉 今！ たった今！ まさに今！ 終わったでしょ！  
わ へっへっへっへ、  
姉 なに、気持ち悪いな  
わ また回るもーん  
母 バカ言ってるしないで座りなさい  
わ 回るもーん  
姉 （ほっときやいいよ）  
母 （ほこりたつでしょ、）

ビートがカットインする。円内の照明が変化する。  
家族たちは以下の台詞をラップにして歌う。

婆 ああー！ そうそう、郵便局のこのおじいさん、いよいよみたいですよ！  
母 またですか、ずっといよいよじゃないですか、  
婆 食道のガンは切除して、胃も切除したんですけど、今度は、肝臓と腎臓と膀胱と大腸とすい臓と心臓と脳みそに転移しちゃったんですって、  
母 まあ、  
婆 まあって、  
姉 ね、ね、ね、新しいテレビ買おうよ、  
母 テレビ？  
姉 だってもう、1ちゃんも映んないよ  
父 え、まじで！  
姉 今ね、3Dのすごいのがあるんだよ、  
母 すごくなくていいの、普通で十分  
姉 えーせっかく買っただったら一番いいのがいいじゃん

母 それより冷蔵庫でしょ、ドア外れっぱなしで、氷河期になってるんだから  
父・婆 え！  
姉 えー冷蔵庫なんかいいよー  
父・婆 いやいやいや、  
母 あんた達が貼ったシールがベタって残っちゃって、それをお婆ちゃんがシンナーで落ちるってこすつたらこれまた全然落ちなくてドロドロになって、ドライヤーで暖めたらいいって聞いてあたしがやってみただけど茶色く焦げちゃって、もうとり返しがつかなくなってるの、汚いでしょ、  
姉・婆 お母さん  
母 ごめん、  
父 そんな、なんでもかんでも買う金ないぞ、  
姉 ロケットブームが来たら儲かるのにな  
父 そうだな、  
母 一生こないわよ、そんなブーム、  
父・姉 え、

ビート、消える。  
照明、元に戻る。

母 (婆婆机を叩いて) ちーちゃん、いい加減にしなさい！  
わはーい

家族たちは先のやりとりを繰り返すが、少しずつ違っている。  
家族たちはさっきよりもさらにすこしせっかちに演じる。

婆 もうすぐ寿命なんじゃないですか  
父 あーもう寿命かもな  
姉 寿命、寿命  
母 え、お義母さん寿命なんですか？  
婆 あたしじゃないですよ  
父 テレビテレビ  
母 (より露骨に) ああ、なんだ  
婆 ……もうね、何も言いませんよ、あたしはあと100億年は生きてやりますからね！  
父 がんばって、  
姉 今日、どこ対どこ、  
父 有人宇宙探査機アポロ対ソユーズ  
姉 どっち勝つ？ どっち勝つ？  
父 NASAだな、頭が違う  
婆 ソ連も手強いよ、  
母 はい、じゃあ、  
家族 ハッピーデースデートウユー、ハッピーデースデートウユー、ハッピーデースデーディアおばあちゃん  
わ ちーちゃん  
家族 ハッピーデースデートウユー(拍手)  
わ え？  
婆 ハッピーDEATH  
わ え、なに、ハッピーデースって、  
姉 え、  
わ ちーちゃんの誕生日は？  
姉 なに言ってるの？  
わ え、  
母 今日、お婆ちゃんの命日ですよ  
わ ええ！

**婆、円の外へ出て行く。**

婆 さすがの私も100億年は無理でした。寄る年波には勝てず、引退です。  
姉 ガンだったんですよ  
母 郵便局のおじいさんのが転移して、  
父 もう他に転移するところなかったもんな、

**父、母、姉、円の外へ出て行く。円内の照明、消える。**

## 「わが星」

わ え、お婆ちゃん死んじゃったの？  
婆 死んじやいましたよ、  
わ なんて、  
婆 なんてってちーちゃんでしょ、ぐるぐる回ってたの  
わ ああ！ ごめんなさい、  
婆 いいんですよ、誰だって最後は死ぬんだから

わ あたし、そんなにいっぱい回ってたの、  
婆 見た目よりもずっと速かったですからね  
わ お婆ちゃん、いなくなっちゃうの？  
婆 いなくなりはしませんよ、ただ星になるだけ  
わ 星？  
婆 星になって、ちーちゃんのことをずっと見てますよ、  
わ そんなのやだよ、  
婆 やだっただってしょうがないでしょ、  
わ やだやだやだ！  
婆 ……しょうがないね、  
わ え、  
婆 じゃあ、逆に回ってごらん  
わ え、こう？  
婆 そう  
わ これでいいの？  
婆 それでいいの、  
わ え、これでお婆ちゃん、生き返った  
婆 生き返りました、

**わ・婆、父・母・姉、円内へ入る。円内の照明が戻る。**

わ やったー  
家族 ハッピーデースデートウユー（拍手）  
わ え？  
婆 ハッピーDEATH  
わ え、え、

**婆、円の外へ。**

婆 さすがの私も100億年は無理でした。寄る年波には勝てず、引退です。  
姉 ガンだったんでしょ  
母 郵便局のおじいさんのが転移して  
父 もう他に転移するところなかったもんな

**父、母、姉、円の外へ。円内の照明、消える。**

わ え、お婆ちゃんまた死んじやったの？  
婆 死んじやいましたよ  
わ ちよっと待って、ちよっと待って、もつと戻るから、  
婆 しょうがないねえ、でもね、忘れちゃいけませんよ、あともうちよっともしたら、みんな死んじやうん  
ですからね、これだけはどうしようもないんですからね  
わ みんな？  
婆 みんな  
わ お父さんも、お母さんも？  
婆 お父さんも、お母さんも  
わ お姉ちゃんも、ちーちゃんも？  
婆 お姉ちゃんも、ちーちゃんも、  
わ もうちよっとってどれくらい

**「わが星」**

婆 なに、ほんの数十億年ですよ  
わ 数十億年ってどれくらい  
婆 なに、ほんの数十分ですよ  
わ 死ぬとどうなるの？ お婆ちゃんは死んでどうなったの、  
婆 死ぬとね、溶けてぐじゅぐじゅになるんですよ  
わ ぎゃー  
婆 でね、ぐじゅぐじゅのドロドロになって土にかえるんです  
わ 土？  
婆 そう、それで星になるんですよ  
わ ちーちゃんも？  
婆 ちーちゃんも、あ、気をつけてね！  
わ え、  
婆 自分が生まれるより、前までさかのぼっちゃいけませんよ  
わ どうして？  
婆 生まれる前も死んでいますからね、  
婆 ちーちゃんはどこから生まれてきたの？  
婆 お母さんからですよ

円内の照明、変化する。

時報に合わせたメロディが聞こえる。

父・母・姉、円の中へ。

母は立つ、父はテレビを観る、姉はくつろぐ。

母 お父さん、できました  
父 (テレビを見ながら) ん？  
姉 (くつろぎながら) なにができたの？  
母 弟もしくは妹、  
父 え、まじで  
姉 えー  
母 まじで  
父 そりゃ、……おめでとう  
母 ありがとう  
姉 どちら、どっち、  
母 まだわかんないわよ  
姉 え、え、お姉さんになるのあたし、  
母 ちゃんと生まれてきてくれたらね  
わ これ、あたしが生まれたとき？  
婆 そう、  
姉 さわってもいい  
母 いいけど、まだわかんないわよ、  
姉 (お腹に手を当て) もしもし、聞こえますか  
わ 聞こえますよ  
母 そんなわけないでしょ  
姉 ……  
わ へえ、

## 「わが星」

円内の照明、消える。メロディもなくなっている。

父・母・姉の姿勢、瞬間で元に戻る。  
以下のやりとりはリズムに乗っている。  
●がちょうど時報と重なる。それに合わせて心臓の音が大きくなる。

わ お母さんから生まれてきたんだ  
婆 お母さんからです、●  
わ お母さんはどこから生まれてきたの？  
婆 お母さんのお母さんからです ●  
わ お母さんのお母さんはどこから生まれてきたの ●  
婆 お母さんのお母さんのお母さんからです ●  
わ お母さんのお母さんのお母さんはどこから生まれたの？ ●  
婆 お母さんのお母さんのお母さんはどこから？ ●  
わ お母さんのお母さんのお母さんのお母さんからです ●  
婆 お母さんのお母さんのお母さんのお母さんはどこから生まれたの ●  
わ お母さんのお母さんのお母さんのお母さんのお母さんからです ●  
婆 お母さんのお母さんのお母さんのお母さんのお母さんからです ●  
わ じゃあじゃあ、もう全部のお母さんの、もう一番、古いお母さんは、どこから生まれてきたの？  
婆 お猿さんからです  
わ え、●  
婆 お猿さんのお母さんからです、  
わ 聞いてないよ、じゃあじゃあもうお猿さんの、前の、もう全部の前の、一番最初の最初は、どこから生まれてきたの？  
婆 お星さんです  
わ お星さん？  
婆 お星さんからこんなちっちゃいのが生まれてね、ちよつとずつ大きくなって、目玉が20個ぐらいあるやつとか、ヌメヌメの魚に足が生えたやつとかがいて、  
わ ぎゃー  
婆 それで、みんながいるんです  
わ 星から生まれたんだ、  
婆 そう  
わ 星から生まれて、星になるんだ  
婆 星から生まれて、星に死ぬんです ●

時報に合わせて、心臓の音、消える。

## 12 引越し

父 ちーちゃん、そこどいてて、

田内の照明、点く。

お昼時。先の団らんよりも過去。

わ え、

母 おばあちゃん、だいじょうぶですから

婆 わたしも働きますよ

わ これ、いつ？

婆 わかんない？

父 せーの、

父と母と婆と姉、わたしを運ぶ。

わ あ、わかった、はじめてここに来た日だ

父 ちーちゃん、危ないから向こう行ってなさい

わ あたしも手伝う、

父と母と婆と姉、わたしを置く。

姉 無理だから、

わ できるもん、

父 いくぞ、せーの、

以下、家族で家族を運び合う。

姉 ねえ、この二段ベッドってあたし達の？

母 そうよ

わ・姉 (はしゃぐ)

姉 あたしが上だから、

わ えー、ずるい

父 ミシンはお婆ちゃんの？

婆 そう、そっちに置いていてください、

母 洗濯機はベランダでお願いします、

父 はいはい、

姉 本棚は？

父 こっち、机の横

母 これテレビ台？

父 そうそう、テレビの下、

婆 冷蔵庫は食器棚の隣でいいですか？

母 そうですね

わ これなに

母 カーテン

姉 ねえ、ガニメデはどこ？

母 木星の横、

婆 フォボスは火星の隣でよかったですかね

## 「わが星」

「わが星」

父 これなんだろ？  
婆 ガスコンロですね、木星につないどいてください、  
父 はいはい  
母 だめでしょ、金星は水星の後ろ  
わ ごめんなさい  
婆 この輪っかは土星ですね  
母 お婆ちゃん、だいじょうぶですか、  
婆 なに、土星は軽いですから  
姉 水に浮くんじゃよ  
婆 そうそう  
父 これ、捨てちゃっていいよね  
母 なにそれ、  
父 なんかデパートの袋と冥王星、  
母 一応とっというて  
婆 そうですね  
父 (姉に) そうやって捨てられないから、どんどんモノが増えてくんだよな  
母 なんか言った？  
父 別に、  
母 だからちーちゃん、土星は天王星の前でしょ  
わ あれー  
姉 ちよっとジヤマしないでよ  
わ 手伝ってるもん  
婆 お天道様は、  
父 まだトラック、  
婆 あれは大きいですからね  
姉 どうするの、  
父 引っ越し屋さんと一緒にやんないとだめだろうな、  
わ あたしも行く  
母 ちーちゃんはこっち  
わ え、  
父 お姉ちゃん、ちよっと軍手持ってきて  
姉 はーい  
父 じゃあ行くか  
わ あたしも  
母 だめ、危ないんだから  
わ えー

父・姉・婆、客席へ戻る。

### 13 月ちゃん

母 ほら、ちーちゃん、こっちいらっしやい  
わ どこ行くの？  
母 ご挨拶に行くの、  
わ ご挨拶？

母とわたし、円の外周を歩く。  
母とわたし、立ち止まりチャイムを押す。  
チャイムの音。ピンポーン。もしくは、音を俳優が口で発する。  
照明、月の椅子をゆっくりと照らす。

月 はい、  
母 あの、隣に越してきたものですけど  
月 はい、いま開けます  
母 こんにちは  
月 こんにちは  
母 ほら、ちーちゃんも  
わ こんにちは  
月 こんにちは  
母 お母さんはいる？  
月 いません  
母 お父さんは？  
月 いません  
母 えっと、じゃあ誰か大人のひとはいる？  
月 いません  
母 誰もいないの？  
月 いません  
母 あらまあ、じゃあ、また来ますね  
月 はい

月を照らしていた照明が消える。  
母、歩いていく。わたし、動かない。

母 ちーちゃん？  
わ ねえ、  
母 え、  
わ お母さん、いい？  
母 (察して) 暗くなるまでには帰ってくるのよ  
わ うん、

母、退場。  
わたし、再びチャイムを押す。  
チャイムの音。ピンポーン。もしくは、俳優が口で発する。

### 「わが星」

月 わ  
はい ……

照明、月を照らす。

わ ……こんには  
月 こんには  
わ はじめまして  
月 はじめまして  
わ 誰もいないの？  
月 うん  
わ ずっと、  
月 ずっと  
わ そうなんだ  
月 そっちは？  
わ え？  
月 そっちはいるの？  
わ あ、うん、いるよ、いっぱい  
月 どれくらい？  
わ 500万種類ぐらい  
月 すごい  
わ ちよっとあげる  
月 いいよ、  
わ どうして、  
月 だって、悪いよ  
わ じゃあ、貸す  
月 貸す？  
わ うん、二人、  
月 ふたり？  
わ アームストロングさんとオールドリンさん  
月 誰？  
わ アメリカ人  
月 すげー  
わ これに乗って行くの  
月 なにそれ、  
わ アポロ、食べる？  
月 うん

月、客席からわたしに近づぐ。

## 「わが星」

月 (わたしに近づぐ)  
わ はい  
月 (受け取り) ありがとう、(食べ) おいしい、  
わ ねえ、……一緒に遊ばない？  
月 ……いいよ、  
わ ほんとに！  
月 ほんとに！  
わ なにする、なにをする、  
月 あっちに公園あるよ  
わ 行きたい、教えて、  
月 いいよ、

# 「わが星」

わ　あ、  
月　え、  
わ　あたし、ちー、  
月　ちーちゃん、  
わ　うん、えっと、  
月　あたしは月、  
わ　月ちゃん  
月　うん、こっち  
わ　うん

わたしと月、田外を回り、踊りながら。  
以下を時報に合わせて、歌う。

わ　なににする？  
月　なにしよう？  
わ　なにで遊ぶ？  
月　なにで遊ぶ？  
わ　ブランコ、シーソー、砂場、  
月　あやとり  
わ　すべり台、フラフープ、  
月　しりとり  
わ　ゴム跳び、  
月　縄跳び、  
わ　おはじき、  
月　かんけり  
わ　ジャングルジム、  
月　ポコペン、  
わ　月　陣取り、  
月　トランプ、  
わ　のぼり棒、  
月　鬼ごっこ  
わ　けんけん、  
月　かくれんぼ、  
わ　かけっこ  
月　リリアン、  
わ　てつぼう、  
月　にらめっこ  
わ　まりつき、  
月　ケイドロ、お姫様ごっこ  
わ　タカオニ  
月　イロオニ  
わ　コオリオニ  
月　おにんぎょう  
わ　ケンダマ　オテダマ  
月　ダルマさん（が）転んだ

わ・月、ストップ。  
照明、男子と先生を照らす。

男 先生、衛星を見つめました  
先 あれは月と言います、互いに引力で引かれあい、寄り添いあい、影響を与え合う  
男 大きさは惑星の4分の1、重さは100分の1、互いの距離38万キロメートル  
先 そして、その距離は遠くなっている  
男 え、  
先 1年でおよそ3.8センチ、少しずつだが確実に遠くなっている  
男 星はそれに気がついているのですか？  
先 わかりません

男子と先生を照らしていた照明、消える。

「わが星」

照明はゆっくりと夕暮れに。

わ じゃあ、ままごとは？  
 月 いいね、  
 わ ままごとしよう  
 月 ままごとする！  
 わ じゃあ、ささいなきっかけで互いの気持ちがすれ違って、一度出来てしまった心のささくれがジャマして、どうしても素直になれない少女達が罪悪感を感じつつも子供ながらの冷たさで傷つけあい、小さなわだかまりを残して別れの挨拶をするっていうままごと！

月 え、  
 わ やるやる

月 え、……なにそれ、

わ え、ままごと、

月 え？

わ やるうよ

月 え、……やだよ

わ え、なんで、ほら、こっちこっち

月 ええ、いいよ、

わ だって、やるって言ったじゃん

月 言ったけど、なんか、思ってたのと違った、し、

わ いいから、一回、やってみよ

月 だって、なんか、ちょっと気持ち悪い、

わ え、なにそれ、

月 いや、うん、やっぱいいや、

わ なんて、絶対、面白いから、一回、一回だけ、（わたし、月の服をつかみ）

月 え、ちょっと、引っ張らないで

わ 引っ張ってないよ、

月 引っ張ってるじゃん、

わ 引っ張ってないって、

月 引っ張ってるよ、

わ 引っ張ってないから、

月 はなしてよ！（ふりほどく）

わ ……いた

月 え？

わ 今、爪が、ガッてなった、いたい、

月 ……

わ （自分の腕を見て、ぽつり） ああ、赤くなってる

月 ……

わ あー、いた、

月 自分が悪いんじゃない

わ こんなに赤くなったら、お母さんに言わなきゃ、

月 そんな、全然普通じゃん、

わ ばい菌入って、はしょうふうになったらどうしよう、

月 あ、

わ え、

月 服やぶけてる、

## 「わが星」

「わが星」

わ うそだね、  
月 ほんとだよ、ここ、ほつれてる、  
わ もとからだね、  
月 これお気に入りだったのに、  
わ あたしじゃないもん  
月 べんしようして、  
わ やだよ  
月 べんしようしてよ  
わ できるわけないじゃん、子供なんだから、  
月 そんなのずるいよ、  
わ ……あー、つまんない  
月 ……もう、かえる  
わ あっそう  
月 ほんとにかえるよ  
わ いいよ、別に、  
月 ……  
わ ほら、早くかえれば  
月 もう話しかけてこないでね  
わ え、聞こえない、  
月 ぜっこうだから  
わ ぜっこう、ぜっこう、  
月 バカ  
わ 死ねば

月、客席へ戻る。

照明は、いつのまにかだいぶ暗い夕暮れになっている。

わ ……(すすん泣き出す)

時報4秒。月、立ち上がる。

月 どう！

わ (急に普通になって) 上手い上手い！

照明、夕暮れ前の明るい状態に戻っている。

月、小さなミラーボールを持って円内へ。

月 ほんとに？  
わ 月ちゃん、すごい！  
月 ちーちゃんだって、  
わ あたし達、すごくない？  
月 はじめてなのにナイスコンビネーションだったよね

とかなんとか2人、盛り上がる。

## 15 タイムカプセル

わたし、月の持っているミラーボールに気がつき、

わ なにそれ  
月 これ？  
わ うん、  
月 これはねー、卒業を迎えた二人が、一緒に過ごした時間とかいつのまにかできた距離感を思って、季節のうつろいや将来の不安を子供心ながらに感じるんだけど、それに気がつかないフリをして団地の公園に埋めた、あの夕暮れのタイムカプセル  
わ十月 の、ままごと

照明、一瞬で変化。さっきとは違う、冬の夕暮れ。

## 「わが星」

わ じゃあ、あの木のねもとは？  
月 いいね、  
わ なに入れたの、  
月 えっとね、写真  
わ うん  
月 新聞  
わ うん  
月 シール  
わ うん  
月 あと、  
わ あと？  
月 ……秘密、  
わ えー、なにそれ  
月 ちーちゃんは？  
わ あたしはね、光  
月 ひかり？  
わ うん、今の、今だけの光を入れとくの  
月 例えば  
わ 例えば、この夕暮れ  
月 あの街灯とか  
わ そうそう、蛍光灯の光  
月 ビルの灯り  
わ 春の日差し  
月 電球のひかり  
わ 夏の直射日光  
月 秋の木漏れ日  
わ 夜中のテレビ  
月 月光  
わ 白日（はくじつ）  
月 朝焼け  
わ 初日の出  
月 冬の白いひかり  
わ 朝のひかり  
月 街のひかり

わ 蛍のひかり  
わ・月 ……、  
わ 月ちゃんはこの制服かわいいよね  
月 え、そう  
わ そうだよ、うちのなんかサイテーじゃん、こんなんだよ、こんな、  
月 (笑う)  
わ やっぱりあたしもそつちの学校にすればよかったかな、  
月 え、  
わ ……埋めよっか  
月 うん、

小さなミラーボールは地中に埋まり、消える。

## 「わが星」

わ 100億年か  
月 100億年だよ、  
わ 100億年だね  
月 100億年だよ、  
わ うん、やっぱちよつと長すぎじゃない？  
月 え、  
わ 100億年はちよつと長すぎる気がする、  
月 そうかな、  
わ だいじょうぶかな、途中で壊れたりしないかな、  
月 だいじょうぶだよ、  
わ ちよつと掘り返してみよっか、  
月 ええ、  
わ ちよつとだけ、ちよつとだけ、  
月 いやいやいやいや、だいじょうぶだよ！  
わ だって！ 100億年とか、待ちきれない、  
月 あっという間だよ、  
わ そうなの  
月 うん、きつと、  
わ そっか、あーなんか全然、想像できないや、  
月 ……ちーちゃん、  
わ ん、なあに？  
月 ううん、  
わ え、  
月 なんでもない、  
わ なにそれ、  
月 え、  
わ この団地まだあるのかな、  
月 あるよ、きつと  
わ あたし何やってるんだろ、  
月 結婚してるんじゃない？  
わ えー、それは月ちゃんのが先じゃない？  
月 なんて、  
わ なんとなく、あー、変なおばさんにだけはなりませんように、  
月 きつと色んなことがあるよ、  
わ 色んなこと？

月 そう  
月 例えば？  
月 例えば、これから春になって、別々の学校になって、少し距離が遠くなったり、

**時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
学校からの帰り道。2人の体の向きなども場面に合わせて変化。**

わ 月ちゃん  
月 ちーちゃん  
わ 今、帰り？  
月 うん  
わ ごめんね、昨日なくて、  
月 ううん、あたしも突然行っちゃったから  
わ なんか、急にクラスでカラオケ行こうって話になっちゃって、  
月 そうなんだ、  
わ あ、あ、じゃあ、来週の日曜どう、遊ばない？  
月 あ、ごめん、日曜は部活だ、  
わ ああ、そっか  
月 ごめん  
わ ううん、でも、今度遊ぼうね、絶対  
月 うん、絶対  
わ うん、じゃあ、また  
月 うん、また、時間が過ぎてちょっと大人になって話をしたり

**時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
夜更けのベランダ。柵にもたれている2人。**

わ おいーす  
月 ちーちゃん、  
わ 何してんの？  
月 ちよっと休憩、あたま冷やしに  
わ あ、受験勉強？  
月 うん  
わ すごいね、こんな時間まで  
月 ちーちゃんは？  
わ あたしは、あれ見てたの  
月 団地？  
わ うん、昔からよくぼーっと見ちゃんうんだよね  
月 星みたい、  
わ ね、本物の星は全然、見えないもんなあ  
月 ねえ、こんな夜中なのに（見えないね）、突然電話しちゃったり、

**時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
電話。背中を向け合って電話をしている。**

## 「わが星」

月 してごめんね、  
わ ううん、どした？  
月 ……あ、ねえ、

わ うん？  
月 ちーちゃんはなりたいたいものとかある？  
わ え  
月 将来、  
わ なにそれ  
月 なんか、わかんなくなっちゃって  
わ 勉強のしすぎじゃない？  
月 そうかも  
わ お星さんかな  
月 え  
わ 月ちゃんはお嫁さんでしょ  
月 えー、また（その話）時間が流れていつか、この団地を離れて一人で暮らすときがきたり、

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
駅までの道。わたしと月、歩きながら。

わ だって、すぐ帰ってこれるもんね  
月 そうそう  
わ 1時間ぐらいでしょ  
月 そうそう  
わ 休みとか帰ってくるんですよ  
月 毎週、帰ってくるよ  
わ じゃあ、ここから通えよって話だよ  
月 そうだよ  
わ まーでもなー、団地じゃあねー  
月 え、  
わ 彼氏、泊めたりできないもんね  
月 しないよそんなこと  
わ 新歓コンパとかあるんですよ  
月 みたいだけど  
わ 楽しそー、  
月 遊びにおいでよ、泊まってけばいいよ  
わ うん絶対行く、何分のに乗るの？  
月 えっとね、58分の東京行き  
わ そう、ていうか、いま58分だけど、  
月 ……うえ！ あ！ ほんとだ！ あ、あ、行かなきゃ、あ、じゃあ、  
わ （月の服をちよっと掴み、立ち止まる）  
月 え？  
わ ……次のにしたら、電車、  
月 ……うん、じゃあ、次の東京（行きの電車に）、駅でばったり会ってビックリしたり、

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
東京駅。2人、再会に驚いている。

「わが星」  
わ 月ちゃん！  
月 ちーちゃん！  
わ ーびっくりした、なになに、なにしてんの！  
月 仕事帰り！

わ うそー、向こうから歩きながら、もしかしたらって思っ  
月 すごい！ 偶然！  
わ まーこんな化粧しちゃって  
月 ちーちゃんだって、あ、ねえ、ちーちゃんも帰り？  
わ うん  
月 じゃあ、いまから、うちでお酒を飲んだり、仕事のグチを聞いてもらったり

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
月の家。2人、酔っ払っている。

わ わかるわかる、  
月 でも、そうやって若者に古い考えを押しつけてもだめだと思っの、  
わ わかるわかる、  
月 だって明らかな事実がそこにあるわけだからさ、新しい価値観も認めないと  
わ わかるわかる  
月 そういうふうだから、時代にまた取り残されるっていうか、進歩が遅れるんでしょ  
わ わかるわかる  
月 だいたいガリレオもさあ、そんなんで自分の意見曲げんって話だよ、  
わ わかるわかる  
月 それでやっぱり、結婚したりして、スピーチ頼んだり、

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
結婚式。月はウエディングドレスを着ている。

わ どうしよう、すごい緊張してきちゃったんだけど、  
月 あたしも、  
わ おしっこちびる、  
月 落ち着いて  
わ やっぱりあたしの言った通りになったね  
月 え、  
わ すごいきれい、  
月 ありがとう、  
わ もう気軽に会えなくなっちゃったね  
月 そんなことないよ  
わ だってまた引っ越しちゃうんでしょ  
月 そうだけど  
わ どんどん遠くになってくね  
月 そうだけど、また遊ぼうよ、あ、子供が出来たらすぐに見せに行ったり、

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
月の家。月の赤ちゃんをあやしている。

## 「わが星」

月 ほらほらほら、  
わ ちーおばさんですよ、変なおばさん、変なおばさん、  
月 笑ってる、笑ってる  
わ べるべるべるべる、ばばあー  
月 なにそれ  
わ え、べるべるばばあ

月 なに、べるべるばあ(つて)に本当になっちゃったり、  
時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
縁側。老婆になった2人は座ってお茶を飲んでいる。

わ まあ、遠いところ、まんずよきなさっておんしゃって  
月 まあまあ、そんなたいぎょうなことしな―すて  
わ もうさがんは腰がようたたんでおそがいね、  
月 あたしも耳がも目もようみえんでもんどりがんがらおしゃらんで  
わ まんと、なに言ってるのか全然わかんない  
月 だから耳も目も悪くなって、(ゆっくりと横になり) ついには病気になって入院したり、

時報に合わせて照明、一瞬で変化。  
病院。月はベッドに寝ている。

わ ……月ちゃん、  
月 あ、  
わ あ、いいよ、そのまま、  
月 うん、来てくれたんだ  
わ どう、調子は  
月 いいよ  
わ そう、ごはんは、ちゃんと食べてる？  
月 あんまり、  
わ だめじゃん  
月 でも、もう無理して食べなくてもいいみたい  
わ え、  
月 先生がそう言ってた  
わ そっか、  
月 この窓からね、団地が見えるんだよ  
わ ほんとだ  
月 あたし達の団地によく似てるの  
わ そうだね、  
月 ……ちーちゃん  
わ なに？  
月 ううん、なんでもない、  
わ ……また元気になったら遊ぼうよ、

月、目を閉じて。

時報に合わせて2人はゆっくりと歌う。

## 「わが星」

月 そうだね  
わ なにする？  
月 なにしよう？  
わ なにして遊ぶ？  
月 なにして遊ぼう？  
わ ブランコ、シーソー、砂場、  
わ あやとり  
わ すべり台、フラフープ、

「わが星」

わ 月 しりとり  
月 ゴム跳び、  
月 縄跳び、  
わ おはじき、  
月 かんけり  
わ ジャングルジム、  
月 ポコペン、  
わ 月 陣取り、  
月 トランプ、  
わ のぼり棒、  
月 鬼ごっこ  
わ けんけん、  
月 かくれんぼ、  
わ かけっこ  
月 リリアン、  
わ てつぼう、  
月 ならめっこ  
わ まりつき、  
月 ケイドロ  
わ お姫様ごっこ  
わ タカオニ  
月 イロオニ  
わ コオリオニ  
月 おにんぎょう  
わ ケンダマ オテダマ  
わ 月 ダルマさんが転んだ

月、止まる。

わ ……月ちゃん？

時報4秒。  
照明、一瞬で明るくなる。いつかの夕暮れ。

姉 (立ち上がり) ちょっと、いつまで遊んでんの、  
わ・月 わ!  
姉 もう50億年、過ぎてんだからね  
わ ええ、もうそんな時間!?  
姉 みんな、あなたのこと待ってたんだから  
わ ごめんなさい  
月 ……  
わ (月に紹介するように) あ、お姉ちゃん  
月 こんにちは  
姉 こんにちは  
わ 月ちゃん、えっと、友達。  
姉 そう、ほら早くしてよ  
わ うん、あ、待って、じゃあね  
月 うん  
わ また明日  
月 また明日  
わ ばいばい  
月 ばいばい

月・わたし、それぞれ客席へ戻る。  
時報に合わせて照明、男子と先生を照らす。

男 (立ち上がり) 先生  
先 (立ち上がり) そうです!  
男 いや、まだなにも言ってます、  
先 君の考えることはわかります  
男 え、じゃあ、なんですか、  
先 うん、じゃあ、ちょっと考えてること言ってみ、  
男 え、  
先 うん、今、ちょっと、言ってみ、考えてること、  
男 え、え、  
先 うん、当てるから、ちゃんと、当てるから  
男 え、  
男・先 (たどたどしく) この、目、で、あの、星を、見て、みた、い  
先 と君は考えているのでしょうか、  
男 あってる!  
先 でも、それは不可能です  
男 どうして  
先 もうすべて終わったことなんです

## 「わが星」

時報に合わせて、ビート音がゆっくりと聞こえてくる。  
男子と先生は以下をラップにして歌う。●の位置がちょうど時報の切れ目になる。

## 「わが星」

男 こんなにハッキリ見えるのにな？  
先 あんなにハッキリ見えるのに、●  
男 こんなにきれいに輝いているのにな？  
先 あんなにきれいに輝いているのに●  
先 あれは光が見えているだけ、そこに実体はありません●  
先 光を見ることは過去を見ること、過去を見ているだけのこと、●  
先 君が見ている太陽は約8分前の太陽で、●  
先 君が見ている月は約1.3秒前の月で、●  
先 君が見ているテレビは0.000000001秒前のテレビで、●  
先 私が見ている君は約20年前の私です●

全 でも、もし、  
男 僕がこの星に向かって進んでいったら、どうなるんですか  
先 どうもなりません●  
全 でも、もし、  
男 星がある場所まで進んでいったら  
先 もうそこにはなにもありません●  
全 でも、もし、  
男 ものすごいスピードで進んでいったら  
先 辿り着く前に消滅します●  
男 間に合わないんですか、  
先 間に合いません  
男 でも、もし光の速度で  
先 光速で●  
全 でも、もし、  
男 光速で進んでいったら  
先 辿り着くのに一万年かかります●  
全 でも、もし、  
男 光速を超えることができれば  
先 光速を超えることはできません●  
全 でも、もし、  
男 光速より早いスピードで進むことができれば  
先 できません、●  
全 でも、もし、  
先 もしはありません、光速を超えることはできません●

男 ……そうですか、  
先 その望遠鏡はちゃんと理科室に返しておきなさい  
男 ……知ってたんですか

**先生、円内に向かって歩きます。**

先 今すぐ返せば、理科の先生もピンター発で許してくれるでしょう  
男 え、  
先 あれは痛かった……、  
男 あの、前から、思ってたんですが先生は何の先生なんですか、  
先 先に生まれると書いて「先生」です  
男 はあ、

先 男 先  
私 国 先  
は 語 語  
君 語 語  
よ 語 語  
り 語 語  
先 語 語  
に 語 語  
生 語 語  
ま 語 語  
れ 語 語  
た 語 語  
君 語 語  
で 語 語  
し 語 語  
か 語 語  
あ 語 語  
り 語 語  
ま 語 語  
せ 語 語  
ん 語 語

先生、ちやぶ台の横に座っている。

## 17 家庭訪問

母、客席から登場。照明、家庭の団らんに変化。

母 すいません、本当に、  
先 いえいえ  
母 ほんといつまで遊んでるんだか

婆、客席から登場。

婆 あ、先生のお茶、もうないんじゃないんですか  
母 ああ、今、新しいの持ってきますね  
先 いいえ、もう、だいじょうぶですから、  
母 でも、  
先 いやでも、もう前のお宅でも、たくさんいただきましたから、  
母 ああ、そうですよね、  
婆 じゃあ、お腹たぶんたぶんだ  
皆 (笑う)

男 あの、  
先 どうしました  
男 いつのまにか、先生が、その、星に、とけ込んでいるような気がするのですが、  
先 それは気のせいではありません  
男 え、え、  
先 確かに私はとけこんでいます、そして若干くつろいでいます  
男 え、どうして！  
先 先生がお邪魔するのはひとつしかないでしょう  
男 え、  
先 家庭訪問です

父、客席から登場。

父 先生は、あれですか、こっち(お酒)のほうはいけるくちですか  
先 え、  
父 もう、どうせだから、晩ごはん食べてもらえよ、あとビールも、  
先 いやいやいや  
母 だめでしょう  
先 そういのはちょっと、はい、  
父 なんて、いいでしょう  
母 だってまだ仕事なんから、  
父 え、ダメなんですか  
先 いえ、まだこれから先の家もありますし  
父 えー  
婆 困ってるじゃないですか  
父 じゃあ、一杯だけ、一杯だけつきあってくださいよ  
先 えー、こりゃまいっちゃったな  
父 あ、本当は好きなんでしょう、  
先 いや、まあちょっと

「わが星」

皆 (笑う)

男 いやいやいや、なじみ過ぎでしょう！

先 確かに私はなじんでいる

男 え、え、でも、どうやって！

先 なにが

男 だって、絶対に辿り着けないって、

先 辿り着けません

男 だって光速を超えることはできないって

先 できません

男 光速は絶対なんですよね

先 絶対です

男 じゃあ、

先 だから言ったでしょう、私は光速を超えたんです

男 えー

姉とわたし、入ってくる。

姉 ただいま

母 ちーちゃん！

わ ごめんなさい

母 先生、ずっと待ってらしたのよ

わ ごめんなさい

母 ずっと遊んでたの？

わ うん

母 ほら、手洗ってらっしゃい

わ はい

わたし、客席へ。

先 ……

父 どうですか、あいつ、ちゃんとやっていますか

先 はい、

母 何か問題とか、

先 いいえ、たまにぐるぐる回って周りをビックリさせますが、

父 そんなことやってんのか、

先 でも、とても良い子です、

父 そうですか、……先生、

先 はい、

父 よろしくお願ひします

先 いや、私には、ただ見守ることぐらいしかできませんから

父 それで十分です、どうか見守ってやってください、

先 はい、

円内の明かりは消えて、家族たちの動きは止まる。

「わが星」

先生はゆっくりと、自分の席へと戻りながら。

男 先生

先 はい

男 この星は、この星たちは最後、どうなるんですか、  
先 恒星は水素が燃えつき、膨張をはじめます。恒星の近くにある星、例えば水星や金星はその中に飲み込まれます。

男 それで、他の星は、

先 運良く恒星の軌道をはずれて飲み込まれなかったとしても、蒸発。もし仮に恒星の温度が下がり、蒸発が免れたとしても、水や大気や植物や動物、ありとあらゆるものは吹き飛ばされ燃え尽き、星は石の塊となるでしょう。

男 それで、

先 その後、余熱もなくなった恒星は静かに光を失い、目を閉じるようにゆっくりと世界は闇に包まれます。

男子、何かを決める、短い間。

男 ……先生

先 できません

男 まだ何も言ってません、

先 私にできたんだ、君にもきつとできる、

男 え、じゃあ、

先 しかし、  
男 え、

先 たとえ光速を超えたとしても、決して星を救うことはできない

男 ……

先 私達にはそんな力はない、私達はただ見守ることしかできない

男 ……

先 無事に辿り着いたとしても星が燃え尽きる寸前かもしれない、

男 ……

先 それでも行きますか、

問。

男 ……行きます

先 どうして、

男 僕は、この星にひと目会いたい、この手で、触れてみたいんです、

先 そうでした、

男 はい、

先 では！ 君も光速を超えるときがきました！

男 はい！

先 ……ほら、超えなさいよ、はやく、光速、

男 いやいやいや、だって、どうやって、

先 がんばって、

男 がんばってか、

先 まずは流星に飛び乗る

「わが星」

男 流星に飛び乗る？  
先 そして少しだけ前に進む、

ここから時報がはじまり、

男 先生！ 流星に乗るなんて、無理ですよ  
先 だいじょうぶ、君はいま、前に進んだ  
男 え、  
先 いきまず、3、2、1  
男 え、え、ちょっと待ってください ●

ここまでで、ちょうど時報、4秒。

時報の終わりに合わせて、大きなバスドラムの単発音。  
男子の役が、別の役者に飛ぶ。  
婆が男子を演じる。

男 先生！ いきなりなんて、無理ですよ、  
先 だいじょうぶ、君は少し、前に進んだ  
男 え、どういことですか？  
先 いきまず、3、2、1  
男 え、え、ちょっと待ってください ●

ここまでで、ちょうど時報、4秒。

時報の終わりに合わせて、大きなバスドラムの単発音。  
男子の役が、別の役者に飛ぶ。  
母が男子を演じる。

男 先生！ 2回連続なんて、無理ですよ  
先 だいじょうぶ、また君は少し、前に進んだ  
男 え、どういことですか？  
先 いきまず、3、2、1  
男 え、え、ちょっと待ってください ●

ここまでで、ちょうど時報、4秒。

時報の終わりに合わせて、大きなバスドラムの単発音。  
男子の役が、別の役者に飛ぶ。  
父が男子を演じる。

男 先生！ 3回連続なんて、無理ですよ  
先 だいじょうぶ、また君は少し、前に進んだ、  
男 え、どういことですか？  
先 いきまず、3、2、1  
男 え、え、ちょっと待ってください ●

ここまでで、ちょうど時報、4秒。

時報の終わりに合わせて、大きなバスドラムの単発音。  
男子の役が、別の役者に飛ぶ。  
月が男子を演じる。

男 先生！ 4回連続なんて、無理ですよ  
先 だいじょうぶ、また君は少し、前に進んだ、  
男 え、どういうことですか？  
先 そして飛び続ける、4、3、2、1  
男 え、え、ちょっと待ってください ●

ここまでで、ちょうど時報、4秒。

時報の終わりに合わせて、大きなバスドラムの単発音。

男子の役が、別の役者に飛ぶ。

姉が男子を演じる。

以下、時報4秒で婆・母・父・月・姉・男子の順で男子役が変わる。

全 先生！  
先 君に言うべきことが2つあります  
男 え、  
先 そのまま聞きなさい  
男 なんですか、  
先 まず一つ、  
男 はい  
先 この旅は一方通行だということ  
男 一方通行、  
先 時間は相対的に流れます、君が光速を超えて早く進めば進むほど、君以外の時間は早く流れる  
男 どういうことですか  
先 例えば、君の1秒が私の1年になる、  
男 じゃあ、あの星の時間も、  
先 もちろん早く流れます、君が着くのが早いか、星が燃えるのが早いか、これはある意味、賭けなのです  
男 そんな、  
先 私はその賭けに耐えることができなかった  
男 え、  
先 そして、もう一つ、君は自分が進む方向を決めなければいけない  
男 方向？  
先 つまり、前に進むか、後ろに進むかです、  
男 後ろにも進めるんですか、  
先 もちろん、試しに後ろを振り返ってみなさい  
男 え、  
先 ほら、少し前の君です

男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。

男 え、

先 ほら、少し前の君です

男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。

## 「わが星」

男 後ろにも進めるんですか、  
先 もちろん、試しに後ろを振り返ってみなさい

男 え、  
先 ほら、少し前の君です

**男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。**

男 方向？  
先 つまり、前に進むか、後ろに進むかです、  
男 後ろにも進めるんですか、  
先 もちろん、試しに後ろを振り返ってみなさい  
男 え、  
先 ほら、少し前の君です

**男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。**

先 そして、もう一つ、君は自分が進む方向を決めなければいけない  
男 方向？  
先 つまり、前に進むか、後ろに進むかです、  
男 後ろにも進めるんですか、  
先 もちろん、試しに後ろを振り返ってみなさい  
男 え、  
先 ほら、少し前の君です

**男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。**

先 私はその賭けに耐えることができなかった  
男 え、  
先 そして、もう一つ、君は自分が進む方向を決めなければいけない  
男 方向？  
先 つまり、前に進むか、後ろに進むかです、  
男 後ろにも進めるんですか、  
先 もちろん、試しに後ろを振り返ってみなさい  
男 え、  
先 ほら、少し前の君です

**男子役が振り返ると、以下、4秒ごとに役と時間がさかのぼり、やりとりが再生される。**

先 星が燃えるのが早いから、これはある意味、賭けなのです  
男 そんな、  
先 私はその賭けに耐えることができなかった  
男 え、  
先 そして、もう一つ、君は自分が進む方向を決めなければいけない  
男 方向？  
先 つまり、前に進むか、後ろに進むかです、  
男 後ろにも進めるんですか、

**元々の男子役にまで巻き戻ったところで巻き戻しが解除され。先へと進む。**

## 「わが星」

先 もちろん、そして私は後ろを選んだ

男 え、  
先 後ろに進めば進むほど、より昔が見える、星は消滅せず、ずっと見守り続けることができる。そう、でも、それはまやかした、それは星ではなく、過去を見ているにすぎない、永遠に見守るかわりに、永遠にあの星と会うことはできない。

男子、何かを決意する短い間。

男 先生、  
先 私はそれを君に伝えに来たんです、さあ、君はどっちに進む、  
男 ……  
先 (小声で)前、前、前、前、前、  
男 いや、あの、小声で、前、前、言うのやめてもらっていいですか、  
先 さあ、君はどっちに進む！  
男 え…、前、  
先 よく言った！  
男 えー、  
先 つべこべ言わない、

時報が2秒ずつになる。俳優たちは先の順番で2秒ごとに役を変える。

先 さあ、さらに加速します  
男 え、  
先 スイングバイ  
男 スイングバイ？  
先 ここから先は星の力を借りる  
男 星の力？  
先 星をかすめ、引力を利用して加速する  
男 え、え、  
先 ハンマー投げの要領です、いきます、3、2、1  
全 え、え、ちょっと待ってください、

時報が1秒ずつになる。俳優たちは先の順番で1秒ごとに役を変える。

先 星に近づき、回転、加速  
婆 星に近づき、  
母 回転、加速  
父 星に近づき、  
月 回転、加速  
姉 星に近づき、  
男 回転、加速

時報1/2秒。俳優たちは先の順番で1/2秒ごとに役を変える。

## 「わが星」

先 星に近づき、回転、加速  
婆 星に  
母 近づき、  
父 回転、  
月 加速

# 「わが星」

男 姉 月 父 母 婆  
 僕は星から星へ飛ぶ  
 は星から星へ飛ぶ  
 星から星へ飛ぶ  
 から星へ飛ぶ  
 星へ飛ぶ  
 飛ぶ

わたしと先生をのぞく全員が男子を演じている。

男 姉 月 父 母 婆 男 姉  
 星に  
 に近  
 近づき、  
 近づき、  
 回  
 じぎ、  
 回転、  
 回転、  
 加速 加速 加

時報1/8秒。

月 父 母 婆 男 姉 月 父 母 婆 男 姉 月 父 母 婆 先  
 星に  
 に近  
 近づき、  
 近づき、  
 回  
 じぎ、  
 回転、  
 回転、  
 加速 加速 加  
 星に  
 に近  
 近づき、  
 近づき、  
 回  
 じぎ、  
 回転、  
 回転、  
 加速 加速 加

時報1/4秒。俳優たちは先の順番で1/4秒ごとに役を変える。

男 姉 月 父 母 婆 男 姉  
 星に  
 に近  
 近づき、  
 近づき、  
 回  
 じぎ、  
 回転、  
 加速 加速 加  
 星に  
 に近  
 近づき、  
 近づき、  
 回  
 じぎ、  
 回転、  
 加速 加速 加

「わが星」

時報の音にドラムとベースの音が重なる。



# 「わが星」

母 速く  
月 速く  
姉 速く  
全 速く

母 速くなる  
父 鳴る鼓動  
月 遅くなる  
姉 鳴る音  
男 速くなる  
婆 鳴る鼓動  
母 遅くなる  
父 鳴る音

男全 100年は1分に  
女全 1年は1秒に  
男 もっと速く  
婆 もっと速く  
父 もっと速く  
全 もっと速く

月 亜音速  
姉 遷音速(せんおんそく)  
男 超音速  
全 極超音速(きょくちょうおんそく)  
婆 ハイパーソニック

女全 1万年は1分に、  
男全 100年は1秒に  
母 もっと速く  
月 もっと速く  
姉 もっと速く  
全 もっと速く

全 人工衛星  
男 時速16000キロ  
全 スペースシャトル  
婆 時速28800キロ  
全 アポロ宇宙船  
母 時速39000キロ  
全 ボイジャー一号  
父 時速61000キロ  
全 公転  
月 時速10万キロ  
全 光  
姉 秒速30万キロ

男 僕が音を追い越す

婆 僕が光を追い越す  
母 音が僕を追いかける  
父 光が僕を追いかける  
先 すべては君のはるか後ろに  
女全 すべては僕のはるか後ろに

男・婆 流星  
母 加速  
月・姉 流星  
父 加速

母・月・姉 そこは音もない  
男・婆・父 光もない世界  
先 目を閉じるな、目を背けるな、  
男・婆・父 まっすぐ前、見る  
母・月・姉 まっすぐ星、見る  
男・婆・父・母・月・姉 超える、超える  
先 何万光年の時を、距離を、  
全 なんなく超える

男全 なんにも聞こえない  
女全 なんにも感じない

姉・月・父・母・婆・男 僕は  
姉・月・父・母・男 僕  
姉・月・父・男 を  
姉・月・男 追  
男 越  
た し

照明、変化。夏。セミの音が聞こえる。  
男子はゆっくりと田の中央へ。

男 夏、昼、蝉、夏休み。リュックを背負って旅に出る。  
おにぎり、水筒、地図、コンパス。まだ知らない場所へ、見たことない場所へ。  
自転車こぐ、僕。汗かく。セミ鳴く。太陽まぶしく。空気ゆらめく。  
川、流れてる。緑、揺れている。草、香る。アスファルト、焦げる。  
空は青い、どこまでも青い。そんな空へとつづく長い坂。  
見たこともないような、長い(×)坂の上に僕は立っている。  
地面を蹴る。自転車はゆっくりと坂を下りはじめる。  
ゆっくりと、ゆっくりと、スピードは上がっていく。  
ゆっくりと、ゆっくりと、スピード上がる。風が顔に当たる。

## 「わが星」

全 男 どんどん、どんどん、  
坂を下る。  
全 男 どんどん、どんどん、  
加速する。

男 ペダルまわる、車輪まわる、タイヤまわる。  
まわるまわる目がまわる。  
僕は怖くて目を閉じそうになる。

全 目を閉じるな。目を背けるな。

男 速くなる。速くなる。音、聞こえなくなる。景色溶ける。何も見えなくなる。  
風が吹く。強い風が吹く。野球帽が風に飛ばされる。  
ハンドルをギュツと握る。手に汗握る。ペダル回る。自転車唸る。  
加速加速加速加速加速。

男 もっと速く、

全 男 もっと速く、

全 男 もっと速く。

全 男 もっと速く。

男 体、軽くなる。重力、解放される。すべてから解放される。  
イル力になる。ツバメになる。風になる。光になる。星になる。  
僕は今、宇宙で一番速い。そしてそのまま、空を飛ぶ。

照明が一瞬で消える。暗転。

その他の俳優は客席にある自席に戻るが、男子は戻らない。  
時報とベースの音はその後にも演奏が続いている。

暗い中で声が聞こえる。ゆっくりと照明が明るくなる。  
わたしは座っている。姉、寝っ転がっている。

わ お姉ちゃん、  
姉 ……  
わ お姉ちゃん  
姉 ……  
わ なんかわんな感じがする、  
姉 いい加減にしてよ、いつまで起きてる気？  
わ だってなんか、眠れないんだもん  
姉 あたしは眠いの、  
わ お腹がむずむずする  
姉 戦ってんだよ  
わ え、  
姉 ちっちゃいのとちっちゃいのが  
わ あたしのお腹で？  
姉 あんたのお腹で  
わ 戦争だ  
姉 戦争、戦争、  
わ え、どうしよう  
姉 ほっときやいいよ、どーせ絶滅するんだから  
わ えー  
姉 ねえ、あんたの担任って結婚してんの？  
わ してないと思うよ  
姉 あっそう  
わ え、なんで  
姉 別に  
わ え、なにそんなにそれ  
姉 あーもううるさい、おやすみ、  
わ お姉ちゃん、  
姉 ……  
わ ねえ、すごく不思議な感じがするよ。時間がどんどん早くなってくみたい。  
姉 誰かが動いてるからでしょ、  
わ 誰かって、  
姉 知らないよ、あたし達が寝てる間も世界は回ってるの、  
わ (あくびをする)  
姉 煙たいんですよ、  
わ え、  
姉 眠たいんですよ  
わ ううん、  
姉 いい加減に寝なさいよ  
わ まだ起きてる  
姉 何、意地はってるの  
わ 煙たくなんかない  
姉 うそつけ

## 「わが星」

## 「わが星」

わ あたしが眠ったら終わっちゃうんでしょ  
姉 何、言ってるの？  
わ 明日が眠ったら終わっちゃうんでしょ  
姉 寝ぼけてる、  
わ ……お姉ちゃん、  
姉 なに、  
わ あたしのこと嫌いだった？  
姉 嫌いだった、ときもあった  
わ どうして、

ゆっくりと極めて自然に、姉の言葉は歌になる。

姉 だって、うるさいし、とるいし、うっとおしいし、なんかあんた猿みたいだし、  
わ ひどい  
姉 はじめて聞いたあの日は、どきどきして全然、眠れなかった  
姉 弟か妹、妹か弟、あたしはお姉さんになる  
姉 弟もいいけどほんとのほんとは、妹がいいなって思ってた  
姉 一緒に遊んだり、お菓子食べたり、マンガ(を)読んだり、歌、歌ったり  
わ 勉強したり、髪を結ったり、しようってずっと思ってた  
姉 わー、  
姉 妹だってわかったあの日はほんとのほんとうれしくて  
わ 落書き帳にクレヨンで、あんたとわたしの絵を描いた  
姉 見たい、  
姉 でもそれも生まれてくるまで、じっさい生まれたら最悪、  
わ え、  
姉 すぐ泣くし、ぎゃーぎゃー騒ぐし、おしっこもらすし、あたしのモノとるし、  
わ 食い意地はってるし、わがまましか言わないし、お母さんとるし、  
姉 あたしのあとばっかついてくるし、言うこと全然聞かないし、  
わ そのくせ、妙になつっこくて、なんか、甘えてくるし  
姉 想像したのとちがう、全然かわいくない  
わ だから一緒にいるのが恥ずかしくてしょうがなかったの

わたし、いつのまにか横になる。

わ ……ごめんね、  
姉 いいよ、別に  
わ ごめんなさい  
姉 もう慣れたから  
わ 慣れた？  
姉 あんたに期待しすぎたあたしがバカだったってこと  
わ えー、じゃあ今は、好き？ 嫌い？  
姉 好きも嫌いもないでしょ、家族なんだから、  
わ そっか、  
姉 あたしの服着たら殺すけど  
わ ……なんで

わたし、寝ている。

「わが星」

姉 ……ちゃんと布団かけなきゃダメでしょ  
わ 暑い  
姉 風吹くよ、  
わ ……え？  
姉 風邪ひくよ  
わ ……

母、客席から舞台へ。

母 いつまで起きてるの？  
姉 いま寝るところ、  
母 ちーちゃんは？  
姉 寝た  
母 そう、ちゃんと布団かけて寝なさい  
姉 はーい、

姉、客席へ。

21 わが星

父、登場。

父 眠った？

母 眠りました

父 そうか、

わ (なんかムニヤムニヤ言っ)

父 ……なんの夢を見てんだ

母 誕生日の夢でも見てるんじゃない

父 ああ、そうか、きっとそうだ、

母 明日は？

父 ああ、いつも通り

母 はい、

父 うん、いつも通り

父の言葉、時報に合わせて歌になる。それと一緒にドラムも演奏される。  
父は円の外周をまわりながら一日の行動を踊りにして歩き続ける。

父 目が覚めて、顔を洗って、(ゴハンよそって)、ゴハン食べて、  
ネクタイしめて、玄関開けて、見送られて、(見送って)

改札抜けて、電車に揺られ、つり革もたれ、(景色ながめて)

受付通って、タイムカード押して、(紅茶飲んで) コーヒー飲んで

働いて(働いて) 働いて、弁当食べて、働いて、

働いて、働いて、タイムカード押して、(タイムセール狙って)

改札抜けて、電車に揺られ、景色ながめて、(あわてて帰って)

気づけば一駅寝過ぎして、夜道歩いて帰りを急いで、

父 徒歩一分、鉄筋コンクリート10階建て集合住宅

駅前から家へとつづく、この並木道を歩いている

今まで俺はこの道を、何回歩いたことだろう

そして、これから俺はこの道を何回歩くのだろう

商店街、コンビニ、公園を抜けると遠くに見えてくる

上から3番目、左から9番目の、下から7番目

どんなに遠くでもわかる、今日も灯りがついている

あれこそわが家、わが星、今日も星は輝いている

母の言葉、時報に合わせて歌になる。それと一緒にドラムも演奏される。  
母も円の外周をまわりながら一日の行動を踊りにして歩き続ける。

母 目が覚めて、お弁当用意して、ゴハンよそって、(ゴハン食べて)

ネクタイ渡して、玄関開けて、(見送られて) 見送って、

食器洗って、ベランダ出て、布団ほして、景色ながめて

服洗濯して、掃除して、紅茶飲んで、(コーヒー飲んで)

(働いて) 働いて(働いて)、お昼寝して、働いて、

洗濯物を取り込んで、献立決めて、タイムセール狙って、

## 「わが星」

母

買い物にかけて、井戸端会議して、（景色ながめて）あわてて帰って  
ごはん作って、お風呂わかして、（夜道歩いて）帰りを待って、  
徒歩1分、鉄筋コンクリート10階建て集合住宅  
玄関から居間へとつづく、この短い廊下を歩いている  
今まで私はこの道を、何回歩いたことだろう  
そして、これから私はこの道を何回歩くのだろう  
商店街、コンビニ、公園が窓から遠くに見える  
上から3番目、左から9番目の、下から7番目  
どんなに遠くでもわかるように、今日も灯りをつけている  
こここそわが家、わが星、今日も星は輝いている

父と母、言葉と動きを重ねて、歩きながら同時に歌う。

父

目が覚めて、顔を洗って、（ゴハンよそって）、ゴハン食べて、  
ネクタイしめて、玄関開けて、見送られて、（見送って）  
改札抜けて、電車で揺られ、つり革もたれ、（景色ながめて）  
受付通って、タイムカード押して、（紅茶飲んで）、コーヒー飲んで  
働いて（働いて）働いて、弁当食べて、働いて、  
働いて、働いて、タイムカード押して、（タイムセール狙って）  
改札抜けて、電車で揺られ、景色ながめて、（あわてて帰って）  
気づけば一駅寝過ぎして、夜道歩いて帰りを急いで、

母

目が覚めて、お弁当用意して、ゴハンよそって、（ゴハン食べて）  
ネクタイ渡して、玄関開けて、（見送られて）、見送って、  
食器洗って、ベランダ出で、布団ほして、景色ながめて  
服洗濯して、掃除して、紅茶飲んで（コーヒー飲んで）  
（働いて）働いて（働いて）、お昼寝して、働いて、  
洗濯物を取り込んで、献立決めて、タイムセール狙って、  
買い物にかけて、井戸端会議して、（景色ながめて）、あわてて帰って  
ごはん作って、お風呂わかして、（夜道歩いて）帰りを待って、

父

徒歩1分、鉄筋コンクリート10階建て集合住宅  
駅前から家へとつづく、この並木道を歩いている  
今まで俺はこの道を、何回歩いたことだろう  
そして、これから俺はこの道を何回歩くのだろう  
商店街、コンビニ、公園を抜けると遠くに見える  
上から3番目、左から9番目の、下から7番目  
どんなに遠くでもわかる、今日も灯りがついている  
あれこそわが家、わが星、今日も星は輝いている

母

徒歩1分、鉄筋コンクリート10階建て集合住宅  
玄関から居間へとつづく、この短い廊下を歩いている  
今まで私はこの道を、何回歩いたことだろう  
そして、これから私はこの道を何回歩くのだろう  
商店街、コンビニ、公園が窓から遠くに見える  
上から3番目、左から9番目の、下から7番目

どんなに遠くでもわかるように、今日も灯りをつけている  
こここそわが家、わが星、今日も星は輝いている

音楽は消えて、動きは自然に日常へと戻る。  
父は家に帰ったときのようだ。

父 ただいま  
母 おかえりなさい  
父 電車、寝過ごしちゃった  
母 まあ、疲れてるんじゃないの  
父 うん、だいじょうぶ、ごはんは、  
母 できてますよ  
父 うん、  
母 すぐ準備します  
父 みんなは？  
母 え、  
父 みんなは、いる？  
母 いるに決まってるじゃないですか  
父 そりゃそうか

家族たち、舞台の中央へと集まってくる。

母 ちーちゃん、ちーちゃん

母 (ちゃぶ台を叩いて) ちーちゃん、いい加減に起きなさい  
わ ……あれ、あたし、(いつ寝ちゃったんだろう)

婆 もうすぐ寿命なんじゃないですか

父 あーもー寿命かもな

姉 寿命、寿命

母 え、お義母さん寿命なんですか？

婆 あたしじゃないですよ

父 テレビテレビ

母 ああ、なんだ

婆 だから！ なんでちょっと残念そうなんですか？ あたしはあと一日は生きますよ、

父 はいはい

姉 今日は、どこ対どこ

父 ちー対太陽

姉 どっち勝つ？ どっち勝つ？

全 (母、姉以外) 太陽、

母 はい、じゃあ、

全 おやすみなさい

婆 郵便局のこのおじいさん、いよいよ明日みたいですわ

母 あら、やっとうですか、

婆 焼けちゃうんですって、

わ (望遠鏡を触ろうとする)

母 まあ、(わたしに) ちーちゃん、

わ (やめる)

父 ほんとうと見てるな、

わ うん、ねーお父さん新しいのちょうだい

父 新しいの？

わ もっと、よく見えるのちょうだい、

父 こないだやったばっかだろう

わ もっとずっと、ずっと見ていきたいの、ねえ、ゴハン終わったら買いに行こう

姉 ダメに決まってるでしょそんな

わ ダメじゃないもん、だって誕生日だもんね

姉 明日でしょ

わ ねー、いいでしょ、欲しいの

母 だーめ、明日までがまんしなさい

姉 ほら、

わ えー、いいじゃん

姉 ねー新しいテレビ買おうよ

母 テレビ？

姉 だってもう、何にも映らないんだよ

父 ほんとだな、

姉 今ね、光通信付きのすごいのあるんだよ、

母 すごくなくていいの、普通で十分

姉 えー、せっかく買うんだったら一番いいのがいいじゃん

母 それより冷蔵庫でしょ、6000度になっちゃうんだから、

婆 みんな、いたんじゃいますねえ、

姉 えー、冷蔵庫なんかいいよー

## 「わが星」

母 あんた達が貼ったシールがベターって残っちゃって、それをお婆ちゃんがシンナーで落ちるってこすつたらこれまた全然落ちなくて、ドライヤーで暖めたらいいって聞いてあたしがやってみただけど茶色く焦げちゃって、しかも太陽が近づいてきて真っ黒焦げになっちゃうの、汚いでしょ、

家族 太陽……、

父 そんな、なんでもかんでも買う金ないぞ

姉 ソニックブームが来たら助かるのにね

父 そうだな、

母 こないわよ、そんなブーム、

わ ねー、明日ってどうやってたら来るの？

母 来ないでしょ、

わ ……え、

母 明日はもう来ないでしょ

わ ……ああ、そっか、

電話が鳴る。

姉 あ、電話  
わ あたし出る、  
姉 ちよっと、  
わ もしもし？

照明、先生を照らす。客席で先生は立ち上がり。

先 もしもし  
わ もしもし？  
先 先生です  
わ もしもし？  
先 最後の連絡網です  
わ もしもし  
先 聞いてください  
わ もしもし  
先 今、光速を超えたいつかの私がそちらに向かっていきます、君に会いに向かってます  
わ もしもし、こんにちはー、  
先 間に合うかも知れないし、間に合わないかも知れない  
わ ハロー  
先 もうすぐ君が見えなくなります、  
わ もしもし、聞こえますか？  
先 私はあまりに後ろに進みすぎたようです  
わ そこはどこですか？  
先 宇宙の果てです  
わ ここは地球です  
先 もう星舞です  
わ もしもし  
先 君が見えなくなるまで、私は見守っています  
わ こんにちは、お元気ですか？  
先 君が見えなくなると同時に、私も消えるでしょう  
わ こんにちは、私の声が聞こえますか、  
先 いつかの私が間に合ったなら、そのときはよろしく、

先生を照らしていた灯りが消える。

母 誰からだった？  
わ なんにも聞こえなかった、  
姉 間違い電話じゃないの  
わ そうかも、

## 24 ミラーボール

婆 あら、今夜は満月ですねえ、  
姉 ほんとだ  
父 よく光ってるな  
母 太陽が近づいてるから  
婆 まぶしいぐらいですね  
わ え、どこどこ、  
姉 あそこ、

円内の照明、消える。月、劇場の中で最も遠く、高い場所にいる。  
月が持っているのは先に持っていたのよりも何倍も大きいミラーボール。  
ミラーボールに照明が当り、劇場がプラネタリウムのようになる。

わ え、月ちゃん！  
月 ちーちゃん！  
わ わー、すごい、きれい、  
月 ありがとう、  
わ なにそれ、  
月 これ？  
わ うん  
月 これはね、ちーちゃんが入れたあの時の光が、反射して、どんどん大きくなってふくれあがって、溢れ出したの  
わ すごい！  
月 うん、  
わ 本当にあつという間だったね  
月 でしょ、  
わ あつという間すぎて間に合わなかった、  
月 そうだね  
わ ごめんね  
月 ううん、あたしも  
わ ……月ちゃん、  
月 なに？  
わ だいぶ遠くなっちゃたね  
月 うん  
わ もう気軽に会えなくなっちゃったね  
月 そうだけど、またいつか遊ぼうよ  
わ うん、……なにする？  
月 なにしよう  
わ なにして遊ぶ？  
月 なにして遊ぼう  
わ ままごとは？  
月 いいね  
わ ままごしよう  
月 ままごとする  
わ じゃあ  
月 100億年前、タイムカプセルにこっそり内緒で入れたのに、誰にも読まれなまま焼けちゃった手紙  
わ 月の、ままごと！

## 「わが星」

時報を合図に楽器が入り、月は以下を歌う。

月 拝啓、ちーちゃん 元気ですか、私は元気です、たぶん  
ちーちゃんとさっきまで遊んで、いま別れたばかりなのに、  
ちーちゃんあてに手紙を書くのはとても不思議な感じです。  
ちーちゃんはいま何してますか。わたしは手紙を書いてます。

って当たり前か。 ああ、もう無駄に4行も使ってしまった。  
今から、100億年後、あたし達はなにをしてるんだらうね  
今から、100億年後、世界はどうなっているんだらうね、  
今から、100億年後も仲良しだといいなって思います。

あのね、ちーちゃんに言いたいのに、言えなかったことがあるの、  
ずっとちーちゃんと言わなきゃって思ってるのに言えなかった、  
なんか、恥ずかしくて、勇気が、でなくて、

明日はちゃんと言えるかな、明日はちゃんと言えたらいいな

ちーちゃん、あのととき声をかけてくれてありがとう

ちーちゃん、あのとときアポロをくれてありがとう

あの日がなかったら、あたしきつとずっとひとりぼっちだった  
ずっと、ずっと、そう思ってた、あの日からそう思ってた、

明日言えなかったら明後日、明後日言えなかったら明明後日

五明後日、六明後日、来週、来月、来年、来世紀、

でも、もしかしたらあたし、最後まで言えないかも、

だから、もしものために、この手紙に書いておきました

ちーちゃんが塩と茄子ときゅうりとみょうがとぬか入れて、  
ぬか漬けにしようって言い出しときは本当にびっくりしちゃったから、  
焦って、腐っちゃうから食べ物禁止って言っちゃったんだけど、  
やっぱり、ちーちゃんには内緒でアポロを入れようと思います。ごめんね。

今夜は月がとてもきれいです、きっと明日は晴れたね

ちーちゃんと明日、タイムカプセル埋めに行くのが楽しみです、月より。

月を照らしていた照明が一瞬で消える。田内が明るくなる。

## 26 カウントダウン

姉 ずいぶん住んだね  
父 そうだな、  
婆 だいぶ汚れちゃったねえ  
母 引越したときはあんなにきれいだったのに  
父 畳も焼けちゃったし、  
母 ふすまも破れちゃったし、  
婆 ホコリも出てくるし、  
わ 引越そうよ、  
他 え、  
わ どうか、新しいところに引越せばいいじゃん  
母 どこに？  
わ ……そっか、  
母 他に行くところなんてないでしょ  
父 そうだな  
母 そうよ  
わ ねえ、どうやって燃えるの？  
婆 お天道さんが大きくなるの  
わ お天道さん？  
姉 太陽のことでしょ  
婆 そう  
姉 あたしそれ習った、  
わ 熱い？  
婆 熱い  
わ えー、  
姉 我慢しなさいよ、あたしが先に燃えるんだよ、  
わ そうなの  
姉 そうだよ、だってお姉さんだから、  
わ そっか……、熱くなる？  
婆 熱くなる  
わ 熱があるみたい？  
母 夏があるみたい  
わ 夏だ、  
父 ずっと夏  
わ いつでも夏だ  
婆 いつまでも夏です  
わ ねえ、  
家 なに  
わ ……手つないでもいい？

舞台の照明が消えて、客電が明るくなる。

時報やベースギターの音はそのまま。

制作者、登場。

## 「わが星」

制作 本日は「わが星」にご来場いただきまことにありがとうございますと申し上げます。4、3、2  
4秒後に灯りを消させていただきます。ご了承くださいませ。4、3、2  
まもなく終演です。今から約

照明、消える。暗転。

制作 本公演は残り時間「約5分」を予定しております。途中、休憩はございません。最後までごゆっくりとお楽しみください。それでは今から約10秒後に上演を再開いたします。4、3、2、

合図に合わせて、時報が聞こえる。

時報 「午前0時ちょうどをお伝えいたします」

時報 「ピ、ピ、ピ、ポーン」

照明が一瞬で劇場を照らす。

男子以外、オープニングと同位置で円の外周を歩きながら歌う。男子の部分は誰も歌わない。

「わが星」

父・母・婆・姉 0年、  
 先・わ・月 0時、  
 父・母・婆・姉 0分、  
 先・わ・月 0秒、  
 母 ちようどをお伝えしました、  
 全 誕生日、おめでとう！  
 全 おめでとう！ え、誰の？  
 わ 時間  
 姉 空間  
 月 希望  
 婆 失望  
 先 声  
 (聞こえない)  
 父・母 命  
 わ・姉 あたし達  
 全 ハッピーデースデートゥーミー  
 わ 世界  
 姉 限界  
 月 関係  
 婆 崩壊  
 先 出会い  
 父・母 (いさかい)  
 わ・姉 旅立ち  
 全 ハッピーデースデートゥーミー あたし達  
 わ ひかり  
 姉 暗闇  
 月 のぞみ  
 婆 苦しみ  
 先 こだま  
 (だんまり)  
 こまち  
 あたし達  
 父・母  
 わ・姉  
 全 ハッピーデースデートゥーミー  
 父・母・先・婆 誕生  
 わ・姉・月 東京  
 父・母・先・婆 おめでとう  
 わ・姉・月 おめでとう  
 父・母・先・婆 滅亡  
 わ・姉・月 東京  
 父・母・先・婆 おめでとう  
 わ・姉・月 おめでとう  
 父・母 次は東京、東京、開くドアにご注意ください

# 「わが星」

わ 上野  
姉 池袋  
月 新宿  
婆 渋谷  
先 五反田  
男 (品川)  
父 田町  
母 御徒町  
わ・姉  
全 ハッピーデースデートゥーミー  
先 これが地球の星舞です。今からおよそ、  
先 50億年後、  
先 地球はこうして消えます。

母・婆 白いカーテン

父・姉 テン井のシミ

母・婆 先 ちゃぶdie

母・婆 die所

姉 ノート 水の音

姉 (教科書)

姉 ランドセル

姉 おべんとう箱

姉 ふで箱

姉 クスリ箱

姉 さいほう

姉 バコ

姉 っとはずれる冷蔵庫のドア

姉 には、こんだて

姉 シール

姉 マグネット

姉 ぐねっと (曲がった鉄筋)

姉 コンクリート10階建て集合住宅

父 たくさんあったね

父 たくさんいたね

父 たくさん住んだね

父 たくさん死んだね

父 たくあんおしんこ

父 ごはんにみそ汁

父 納豆

父 めざし

母・月 めざまし時計

母・月 ほっき

母・月 警報器

母・月 つめきり

母・月 (せんぬき)

母 炊飯器

母 洗濯機

父 食器

父 乾燥機

姉 わ・月 三時のおやつはホット

姉 警報器

姉 がなる音が聞こえる

姉 がなり声が聞こえる

姉 天城越えが聞こえる

姉 山が燃える

消える

「わが星」





# 「わが星」

先   なんか滅ぶ  
わ   自ら滅ぶ  
女全 太陽膨張で滅ぶ

父婆先 誕生  
女全 滅亡  
父婆先 誕生  
女全 滅亡  
父・母 さよなら  
わ・月 バイバイ  
全   また明日

父婆先 誕生  
女全 滅亡  
父婆先 誕生  
女全 滅亡  
姉・婆 さよなら  
わ・月・先 惑星  
全   また明日

母・婆 黒いカーテン  
父・姉 テン井のけむり  
母・婆 ちゃぶdie  
姉   dying  
わ   水の音

わ   ノート  
          (教科書)

姉   ランドセル  
          おべんとう箱  
          ふで箱  
          クスリ箱  
          救急  
          バコ  
          つとはずれた冷蔵庫のドア

母   には、こんだて

全   シール  
          マグネット  
          ぐねっと  
          曲がった鉄筋コンクリート10階建て集合住宅

わ   たくさんあったね  
          たくさん遊んだね  
          たくさんいたね  
          たくさん逝ったね

月   あつかんえだまめ  
          イカ焼きたこ焼き  
          焼きメシ  
          焼きそば  
          焼き鳥

父   

婆   

姉   

母

ちりとり

焼きほっけ

ほうき

消火器

警報器

ゆびきり

(てんてき)

洗面器

血液

掃除機

葬式

わ・月 三時のおやつはホット

警報器

がなる音も消える

がなり声も消える

天城越えも消える

消える

山が消える

海が消える

森が消える

星が消える

(君が消える)

消える

全 (消える星の陽)

母 めぐる年月

全 日月(火) 水木金土日

全 月火(水) 木金土日月

全 火水(木) 金土日月火

全 スイキン チカモク

全 ドッテン カイメイ

父 スイバク ゲンバク

父 タイセン カイセン

(水爆原爆大戦開戦)

母 スイゲン ソコツク

母 ユデン カツメイ

(水源底付く油田湯命)

姉 サイキン ウイルス

姉 カクダイ マンエン

(細菌ウイルス拡大蔓延)

婆 シンキン コウソク

婆 シツカン ハッシヨウ

(心筋梗塞疾患発症)

月 スイセイ シヨウトツ

月 ホウカイ ブンメイ

(彗星衝突崩壊文明)

全 ジンルイ ゼツメツ

全 ゼツタイ ゼツメイ

(人類絶滅絶対絶命)

先 スイキン ジヨウハツ

先 タイヨウ ボウチヨウ

(水金蒸発太陽膨張)

全 セイメイ ゼツメツ

全 ゼツタイ ゼツメイ

(生命絶滅絶対絶命)

全 ワクセイ キエユク

全 ヒカリノ セカイヘ

(惑星消えゆく光の世界へ)

時報、4秒。

時報 「0時3分30秒をお知らせします」

男子、自転車に乗ってやってくる。

男子、自転車で円の外周を疾走する。

以下、全員で□□□「00:00:00」を踊り、歌う。

「わが星」

# 「わが星」

わ 姉 月 婆 先 男 父 月 姉 時  
間  
空 間  
希 望  
失 望  
声  
聞 こ え 不 明  
命  
あ た し 達  
わ 姉 月 婆 先 男 父 月 姉 世 界  
限 界  
関 係  
崩 壊  
出 会 い  
い さ か い  
旅 立 ち  
あ た し 達  
わ 姉 月 婆 先 男 父 月 姉 暗 闇  
の そ み  
苦 し み  
こ だ ま  
だ ん ま り  
こ ま ち  
あ た し 達  
わ 姉 月 婆 先 男 父 月 姉 暗 闇  
の そ み  
苦 し み  
こ だ ま  
だ ん ま り  
こ ま ち  
あ た し 達

わたしと男以外、一人ずつ踊りから離れ、いなくなる。  
少しづつ、輪は小さくなっていく。

女全 死んでくわたしが見ているの？  
男全 そう  
女全 見ているわたしが生まれるの？  
男全 そう  
女全 生まれるわたしが見ているの？  
男全 そう  
女全 見ているわたしが死んでくの？  
男全 そう  
女全 死んでくわたしが生まれるの？  
男全 そう  
わ 死んでくわたしが見ている  
姉 見ているわたしが生まれる  
月 生まれるわたしが見ている  
母 見ているわたしが死んでく  
全 誕生日おめでとう！  
全 おめでとう！ え、誰の？

生まれるわたしが見ている  
見ているわたしが死んでく  
死んでくわたしが生まれる

男子、自転車から降り、その輪に参加する。

「わが星」

男全 滅亡  
女全 東京  
男全 おめでとう  
女全 とぅきょう  
男全 滅亡  
女全 東京  
男全 おめでとう  
女全 とぅきょう  
父・母 終点、東京、東京、閉まるドアにご注意ください  
わ 上野  
姉 池袋  
月 新宿  
婆 渋谷  
先 五反田  
男 品川  
父・母 田町  
月・姉 御徒町  
全 ハッピーデースデートゥーミー

わたしと男子、円の中心に立ち、止まる。

わ こんにちは  
男 こんにちは  
わ はじめまして  
男 はじめまして  
わ 今日ね、あたしの誕生日なんだよ  
男 そうなんだ、  
わ うん、  
男 おめでとう、  
わ ありがとう、ねえ、  
男 なに？  
わ そこから、あたしが見える？  
男 よく見えるよ  
わ どう見える？ あたし、笑ってる？ 泣いてる？  
男 光ってる、  
わ ああ、そうなんだ、ねえ、  
男 なに？  
わ これ、あたしが死んでくとき？  
男 そう、  
わ 知ってるの？  
男 知ってるよ  
わ どうして？  
男 ずっと見てたから  
わ ずっと見てたんだ  
男 100億年、ずっと見てたから  
わ ずっと見ててくれたんだ、(あくび)

男 眠い？  
わ うん、煙たくなっちゃった  
男 そう、  
わ あたしが眠るまで見ててくれる？  
男 いいよ  
わ ありがとう、じゃあ  
男 うん

わたし、ちやぶ台に乗り蛍光灯のヒモを持つ。

わ おやすみなさい

ヒモを引くと同時に時報と照明が消える。

暗闇。無音。

「わが星」

「わが星」おしまい。

本作品の著作権は、作者である柴幸男に帰属します。  
上演許可などのお問い合わせは、作者の所属する劇団「ままごと」まで。  
上演をする際は有料無料に関わらず、必ずご連絡ください。

ままごと HP [www.mamagoto.org](http://www.mamagoto.org)  
MAIL [mamagoto.org@gmail.com](mailto:mamagoto.org@gmail.com)